えすぺらんさ

創立五十五周年記念号

会報第64号
2004年12月
エスペランサ婦人会

エスペランサ婦人会の歌

古野菊生　作詞
菊池　啓　作曲

1．　仰ぎ給えな　おみなごの
きよきのぞみは　さながらに
木梢に紅き　花よりも
たかくさやけき　暁の星
ああ　エスペランサ
エスペランサ

2．　結び給えな　花の環に
おみなの腕　よわくとも
けわしき道を　一すじの
のぞみに歩む　このつどい
ああ　エスペランサ
エスペランサ

Hino da Esperança

Letra: Kikuo Furuno
Música: Kei Kikuti

1.　AOGUITAMAENA OMINAGONO
KIYOKINOZOMIWA SANAGARANI
KOURENI AKAKI HANAYORIMO
TAKAKU SAYAKEKI AKENOHOSHI
A...A　ESPERANÇA
ESPERANÇA

2.　MUSUBITAMAENA HANANOWANI
OMINANOKAINA YOWAKUTOMO
KEWASHIKI MITI O HITOTSUJINO
NOZOMINI AYUMU KONOTSUDOI
A...A　ESPERANÇA
ESPERANÇA

現ヂレットリア

(2004 年) 創立 55 周年式典　来賓 (熊谷会長挨拶)

前会長たち

祝賀記念ボーロを囲んで

慈善お茶会

吉瀬エレナ副会長

アトラクション

総領事館の夫人方と

婦人会へのお客様

歌手井上悠美さんと

シニアボランティアの宮城先生を囲んで　2000年2月

歌手の浜美枝さんと

婦人会各教室（二〇〇四年八月）

料理・上島悦子先生

ピアノ教室・小野寺七郎先生

日本語教室・松尾眞名子先生

歌謡教室・北川彰久先生

ポルトガル語・松村光江先生

編物教室・清水幸子先生、山本さより先生

フォークダンス・佐藤一子先生

ビンツーラ教室・秋末幸子先生、水野誠子先生

コーラス・小野寺七郎先生

書道教室・小寺照華先生

俳句・星野曈先生

短歌・清谷益次先生

合唱祭出演

コーラス部員

仏式法要でのコーラス隊

整美体操・山田京子先生

生花教室・河村リーナ子先生

日本舞踊・花柳龍梅先生

洋裁教室・梅木シズカ先生

バザーのための作業　どらやき作り

桜もちつくり

歌謡教室の誕生会、北川彰久先生と

日舞教室　芸能祭出演

花柳龍梅先生と

バザー売店　食品売場

バザー売店　手芸品売場

バザー売店　アルモファーダ売場

みつ豆の係り

ちらしずし係り

いなりずし係り

楽しいピクニック

カンポスド　ジョルドンにて

マジック　シティー（スザノ）

カンピーナス　東山農場

バザー売店　ざぶとん売場

バザー売店　出品者売場

バザー売店　会場風景

２０００年新年会

２００３年石田総領事夫人歓迎会

グヴァラピランガにて

クンニャ　上原ホテル

クンニャ　山登りもしました

紀宮清子内親王御来伯

２００３年石田総領事夫人と

創立五十五周年式典挨拶

会長　熊谷　美寿恵

今日までたくさんの業績と栄光を残して参りました私どもエスペランサ婦人会が今年五十五年目の記念日を迎えました。この式典にこのように多勢の皆様にお集まり頂きまして誠に有難うございます。長い大戦のあと、日本の戦争犠牲者の悲惨な生活を少しでも援助しようと、在伯同胞の日系女性グループが起ち上がりました。その母国救援活動を根拠として一九四九年にエスペランサ婦人会を創立し同年八月十七日に公認団体の許可を受けました。

以来、会の運営については「婦人の生活向上」を目標として会員一同心を合せて邁進してまいりました。そして確実に成長発展を続けて参りました。この会の発展には役員を初め、会員皆様の心からなるご協力があったことを忘れることは出来ません。どんな時でも、どんな仕事でも心から喜んで協力して下さる皆様に私は深い感謝の念を捧げます。

会創始者方の意思を継ぎ、何時の世も薄幸の人たちのために点す灯火を、これからもなお謙虚に守りつづけてまいりたいと念願するものでございます。

御来場の皆様に厚く御礼を申し上げますと共に今後と

も変らぬ御支援と御鞭撻を心よりお願い申し上げます。
ありがとうございました。

祝　辞

在サンパウロ日本国総領事　石田　仁宏

（略）

二〇〇四年十二月

お祝いの言葉

ブラジル日本文化協会会長　上原　幸啓

（略）

祝　辞

サンパウロ日伯援護協会会長　和井　武一

（略）

祝　辞

ブラジル日本都道府県人会連合会会長　中沢　宏一

（略）

創立五十五周年、お祝いのことば

コーラス・ピアノ教室講師　小野寺七郎

（略）

ご挨拶

ブラジル日本アマチュア歌謡連盟日伯音楽協会会長
エスペランサ婦人会歌謡教室講師
北川　彰久

この度、エスペランサ婦人会が創立五十五周年を迎えられ、その記念誌を発刊されるに当たり、一言お祝いのご挨拶をさせていただきます。

エスペランサ婦人会は、戦争が終わってまだ世相も落ち着かない一九四九年、日系子女の生活向上と社会福祉を主旨に結成活動されている日系では中南米最大の婦人会として、各種催しごとを通じて慈善福祉事業のお手伝いをされておられます。

私とエスペランサ婦人会とは、一九八八年婦人会が歌謡教室を開催されるに当たり、当時の水本すみ子会長から長岡清子顧問を通じて歌謡講師のお話が有り、その年の八月から会員の方々に毎週一回木曜日に団体個人の両方で、歌謡曲をお教えするようになり現在にいたっています。

私と現在の歌の指導の主流カラオケとの出会いは、音楽学校出の私が仕事の関係で左親指の神経を切ってしま

い、楽器が弾けなくなって音楽をあきらめていた私に、カラオケで歌を教えなさいと勧めてくださった中の一人が、ガルボンブエノ店開店時に、コマーシャルでお手伝いをして以来の交際をして戴いていた故水本毅カーザ水本社長で、現在の私があるのは、水本ご夫妻とエスペランサ婦人会のお陰といつも感謝しております。

福祉には犠牲がつき物ですが、エスペランサ婦人会の方々はそれを楽しむかのように、毎年バザーやお茶会などを催し、会員の方々が一丸となってお手伝いをされておられる姿を見ますと頭の下がる思いで一杯です。五十五年の歳月が経った今も、創立の主旨女性の生活の向上と福祉への協力が面々と生きているエスペランサ婦人会の今後の飛躍と、会員の素晴らしいお母さま方皆様のご多幸をお祈り申し上げ、私の五十五周年記念誌への祝辞といたします。

二〇〇四年十二月二十七日

創立五十五周年記念式典ご挨拶

名誉会長　水本すみ子

本日は当エスペランサ婦人会創立五十五周年記念式に皆様ようこそお集り下さいまして有難うございます。

五十五周年、半世紀を過ぎました当婦人会のこの記念すべき日に思いますのは、やはり会創立の動機でございい

ます。

一九四九年、それは第二次世界大戦終焉後四年目の事でした。全国力をあげて戦った日本は戦後極度の物質不足で困窮を極めておりました。有志の婦人方が衣類、食糧などの救援物資を集めて日本へ送りました。その事が契機となってエスペランサ婦人会が誕生致しました。創立者の方々は高岡せい子さん、山本五十枝さん、加藤須磨子さん、村上うめさん、揮旗富美さん、蜂谷ふき子さん、長谷川浜さん、金城楠枝さん等、当時の日系コロニアの指導者階級の奥様方並びに知識階級の婦人方でした。終戦直後の暗澹とした日系社会でしたが「これから希望を持ってやりましょう」と言う事で婦人会の名称を「エスペランサ」と名付けました。創立者の皆さんには当時のこの社会をもっと明るくという希いが込められていたと思います。又当時はこの国の法令で団体の会長は生来のブラジル人ではいけないという事で初代会長の大野ツヤさんを初め、香山秋子さん、村上悦子さん、小田イザウラさん、金城美代子さんと皆さん二世のお若い方々に就任して頂き、一世の創立者の方々は、総務、委員という形で会の運営にたずさわって参りました。会の主旨を「社会福祉のお手伝い」と「婦人の生活向上」として年中行事の五月の慈善バザーには特に会の総力をあげて取り組んでまいりました。婦人の生活向上としてはまず当時は名士の各種講演の他、料理講習を初めコーラスやポ語講座などでしたが、只今では日本語講座、書道、編

物、手芸、俳句短歌等、趣味と実用の教室を十六教室開いております。時代の流れに添って会の運営も二世の皆さんに負うところが多く現在では会長もヂレットリヤもほとんど二世の方々となりました。

五十五年を経た現在では会の内容も大変広がってまいりまして各役員の任務もだんだんと重くなって参りますが、この会が真実社会のために役立つ、ほんとうに欠く事の出来ない会であるならば私達は出来得る限りの努力をしなければと思います。一人ひとりの力は小さくとも多勢の力を合せた会の底力を以って、今後とも与えられた使命を思い、この歩みをより力強い歩みとして続けて参りたいと存じます。どうか今後とも皆々様の御支援と御理解を心よりお願い申し上げ私のご挨拶とさせて頂きます。

目　次

会歌
【写真集】五十五周年式典他
創立五十五周年式典挨拶……会長　熊谷美寿恵
祝辞……サンパウロ日本国総領事　石田　仁宏
お祝の言葉……ラジル日本文化協会会長　上原　幸啓
祝辞……サンパウロ援護協会会長　和井　武一
祝辞　サンパウロ都道府県人会連合会会長　中沢　宏一
創立五十五周年お祝いの言葉……コーラス、ピアノ
教室講師　小野寺七郎
ご挨拶……ブラジル日本アマチュア歌謡連盟日伯
音楽協会会長　エスペランサ歌謡教室講師
北川　彰久
五十五周年式典ご挨拶…エ婦人会名誉会長　水本すみ子
「エスペランサ」との繋がり…短歌教室講師　活谷　益
次
エスペランサ俳句会……俳句教室講師　星野　瞳
ポルトガル語教室……ポ語教師講師　松村　光江
書道教室から……書道教室講師　小寺　照華
出合いから生れて……元援協事務局長　山下　忠男
生涯学習……短歌教室担当　山岡樹代子
五十五周年に際しての私の希望…人文学研究所
宮尾　進

ブラジルの一般情勢と少年コスメ君の国を想う心…
ソールナッセンテ人材銀行　代表　赤嶺　尚由
四十五年の足跡（その起源と沿革）……
若松　喜美　水本すみ子共述
エスペランサ婦人会十年の歩み
一九九五年より二〇〇四年まで　会報五〇号より六十四号
業務日誌要約……・書記　小林　敏恵
婦人会歴代会長
ポ語欄　裏表紙より

「エスペランサ」との繋がり

清谷　益次

エスペランサ婦人会は、今年創立五十五年を迎えるという。

五十五年前と言えば、私は駆け出しの新聞記者で、パウリスタ新聞社会部のデスクだった関係で、創立当初の時代の会の主だったご婦人方と割合多くお目にかかる機会があった。私にとっては大先輩のコロニアの中心的な人々の奥方たちであった訳で、山本喜誉司氏、長谷川武氏、田中義数氏、城島慶次郎氏等の夫人をすぐ思い出す。

第二次世界大戦後の「勝ち組負け組」問題などの暗い影をまだ背負ってはいたが、この時代は移民にとっては

もう一つの〈新生（或いは出発）〉を意味するものではなかったろうか（第一は笠戸丸移民に始まる日系社会創造）。前途に光明を望んで活気を孕んでいた。

この時代の動きの要求によって「エスペランサ」は生まれた。生彩ある出発だったのは当然と言えるだろう。その実りある活動は現在も変わることなく続いている。

婦人会の活動分野は広いが、その一つとして新設された「短歌教室」を担当して欲しいと、声がかかったのはどういう〝風の吹きまわし〟があってのことだったか。

その「短歌教室」が、この十二月で二四二回を数えた。まる二十年を越えた訳である。口べたな私の話に、よくつき合って下さる、と時々不思議に思うこともある。

教室でいつも言っているのが、「この教室でいちばん勉強させて貰っているのは、実はセンセイ顔をしているこの私だ（先生顔をしないことに心がけている）」と言うことで偽りは微塵もない。短い短歌作品にこめている人それぞれの思いを過不足なく汲みとり掬い上げて、それを作者に伝えることはいい加減ではすまない訳で、その作業が私の勉強になっている、という意味である。

日本で行われる色々なイベント歌会の入選者に、教室参加者の作品がかなり多く見られるようになった。それは私をも励ましてくれる。

二〇〇四年十二月

この家を終の日までと思いきしに
一人で住むを娘等は気ずかう
伊東　国子

公園の淡き日の射すベンチにて休む老人に犬は寄り添う
鈴木　妙子

衣擦れの程の音してドアの下に差し入れられし今朝の郵便
野村　康

救援の物資に合掌の姿ありスマトラ津波の報道写真
立花　操

あどけなき女孫が歌う汽車ポッポ受話器を耳に押し当てて聴く
武地　志津

ひらがなの孫の賀状の雄鶏の春告ぐるごととときつくりいる
崎山美知子

数日をひねもす海に遊べども「インド洋津波惨事」に心弾まず
綱島クララ

二十七の誕生日迎うわが娘何を見ているだれを見ている
松村　光江

大輪の菊を華麗に活け終えて新年（にいどし）の想いほのぼの湧き来（く）
田辺　艶子

剪定の済みし裏庭広くして黄菊サルビア寄り添いて咲く

志村　とく

改まる年の朝の庭に満ちて松葉牡丹の紅白かがよう

尾崎都貴子

歌手五十年島倉千代子の舞台姿をしんみり見入る橋田寿賀子は

藤田あや子

剃刀（かみそり）のあとも瑞々しき孫の頬童顔の背丈は見上ぐるばかり

田口　愛子

待ちわびし庭のにがうり花咲きて沖縄料理の一つがうかぶ

真藤　浩子

父母（ちちはは）とはらから眠るこの異土は第二の祖国となりて安けし

山岡樹代子

年末が花季の終りのフランボイヤンはやも淡緑の新芽伸び初む

井本司都子

理解ある伯人聟にて気兼なく娘はわれらをいたわりくる

小野寺郁子

エスペランサ俳句会

星野　瞳

エスペランサ俳句会は、一九八三年十月二十一日に発会した。そして、この十二月句会で、第二百五十回句会を迎えることになる。

第一回俳句会は四十一名の出席者があったが、この二十一年間には、亡くなった方、高齢のため外出不可能になった方などで、現在は、約半数に会員が減ったが、卒寿を迎えた方二人、又第一回より現在迄の二百五十回を欠けることなく出席した四人の会員、この方達は何かの意味で表彰して上げる価値があると思う。

エスペランサ俳句会は、数あるサンパウロの俳句会の中で、最高の歴史を持つ俳句会である。会員を増やして、百年祭までは存続させたいと念じている。

旅なれば夜毎に濯ぎカミゼツタ　浩子
髪も涙も洗ひ流して落ちつけり　とみ代
一とつまみ生姜のせ出す冷豆腐　美鈴
ミネラールの水に浮かして冷奴　一子
うつむいて小走りに下りる灼くる坂　とし子
夏痩せず時には楽し厨事　邦子
日向来し客をもてなす冷奴　信子

生来の無精のひとり冷奴　トシ子
夫に供なう冷奴に冷酒添え　しづえ
片陰のビルの長さを歩いて行く　幸子
夕食のリクエストには冷奴　美知子
冷奴食べ旅宿一と日暮れ　富貴枝
一レアルの食事の列や片陰に　艶子
すでに早片陰占める駐車かな　樹代子
灼け土に鍬引きし日のはるかなり　安枝

ポルトガル語教室

松村　光江

エスペランサ婦人会、五十五周年記念おめでとうございます。

初めて、エスペランサ婦人会でポルトガル語を教えることになったのは一九七二年です。当時、私はまだ独身で、教える経験もありませんでした。その時の会長さんは、今は懐かしい山根さんでした。そして、秘書は私の伯母の山岡さん。この初めての呼びかけに応じてから、すでに二十年間もお世話になってしまいました。その間、結婚、出産、子育てとポルト・アレグレへの引っ越しで、十年間ほど、しょうがなくエスペランサを離れます。でも、再びサンパウロへ帰るようになり、嬉しい事に、又、エスペランサでポルトガル語を教えることにな

りました。
今、生徒の数は少ないけれど、以前と変わりなく、生徒達の間には会話が弾み、笑いが生まれ、時の経つのも忘れます。ですから、私も毎週、楽しみにしてバスとメトローを乗り継いで、エスペランサへ出かけます。今では、エスペランサは第二の家族で、大切な居所です。ここで私は日本語を深く学べたお陰で、日本にも行けました。そして、文化の異なるブラジルと日本をもっと理解出来るようになったと思います。
これからも、エスペランサのボランティアとして、皆さんと仲良く頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

書道教室から

近藤　照（小寺照華）

これという目的もなく来伯した私、そろそろ何かをと思う頃に、エスペランサ書道教室のお話があり軽い気持でお引受しました。一九八八年一月のことです。
始めた第一日、長い列の方が学習されていたのに驚いたのですが、間もなくの激減が思い出されます。
他界なさった前任の方の指導方法を引き継がず変えてしまったことの反省が残っております。とかくの紆余曲折を経て十六年の歳月が流れました。

学習された方のお名前を記載していましたが、不治の病を抱えながら、また最後まで杖を頼りに学習された方など、数名の方が他界されましたが、黄泉へのお見送りができなかった時の悔いなどが残っております。

ブラジルのいわゆるコロニアのことなど皆目わからなかった私が、皆さんとの学習の中で目も開け、書の学習も続けられたことは本当に有難いことであったと感謝でいっぱいです。

多数の国民が共存するブラジル、その中で個有の文化を伝えていくことの大切さ、特に日本より早期移住された方達のその思いの強さを感じます。

現在学習する方達も多くはありませんが、日本の文字は美しいという露国の婦人、伯国の青年もおりで、本当に好きな人達が日本の文字からの拡がりを学習しています。

会員の方達がお料理をしたり、手仕事をなさっている姿を垣間みて教室にいきますが、会員の方のなごやかな雰囲気の中から一脈の緊張感の漂いが伝わってきます。お仕事の中から雑談など聞こえないのです。

エスペランサ婦人会、行事の度毎の会員の方達の一致団結、一瞬私は何か魔法にでもかけられた思いになるのですが、それが何なのかすぐに答えは出てきません。

創立当時からの会長はじめ皆さまの社会奉仕の精神、幸を還元する無償の愛なのかとも思われます。

半世紀を経た五十五周年記念、本当におめでとうござ

います。

出会いから生れて

元援協事務局長　山下　忠男

雨ニモマケズ　風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ……
東ニ病気ノコドモアレバ
行ッテ看病シテヤリ　西ニツカレタ
母アレバ　行ッテソノ稲束ヲ負ヒ
南ニ死ニサウナ人アレバ　行ッテ
コハガラナクテモイゝトイヒ
北ニケンクワヤ　ソショウガアレバ
ツマラナイカラヤメロトイヒ……
ホメラレモセズ　クニモサレズ
サウイフモノニ　ワタシハナリタイ

宮沢賢治の筆蹟で書かれたこの詩が、長い間勤めた仕事場の横に古ぼけた額と共にぶら下っていました。これは雑多な品物が並ぶ慈善バザーで見付けて買い求め、三十五年余勤めて退職した今も自宅の壁で、いよう、懐かしいなあ、頑張れよと言う様に語りかけてくれます。この詩にすごく感動したという程でも無いのですが、何かをやって見事に成就したというのでも無く、小さな挫折

をしながらも頑張り通し、何とか立ち直ってゆくお手伝いをしたいとの思いが伝わってきます。

仕事や暮しの中でうまくゆかない時、辛い時に何十回も何百回も見ている内にこの詩との出会いが何となく優しく、少し穏やかな気持を与えて貰える気がして時々眺めています。

私は戦後十九才で単身呼寄移民でブラジルに来ました。

戦争中は大都会の子供で九才の時から両親と離れて学童疎開、そのため私の人生で日本の家族と共に暮した年月はわりと短い期間となっています。

ブラジルでの生活も山あり谷あり、崖ありで振り返ってみるとよく頑張ったなあという感慨も多くあります。昨年は着伯五十周年もしました。ブラジル生活五十年、その中でも三分の二以上をサンパウロ日伯援護協会で働き、病魔に冒され、家族を失くし、悲惨な、時にはどん底にいても健気な気持の、救済援護を必要とする人達との出会いがありました。

始めは未経験で情熱も乏しいまゝいっときの生活手段で入った道が、多くのことを学び知識を重ね乍ら福祉一筋に三十五年と、尤もらしい名目で評価を受ける様にもなりました。

過ぎてみれば成功の夢物語りも無く、どうだという達成感にも程遠いのですが、俺も何かをやってきたんだという満足があります。この人生の多くの頁をうめた道も

引っぱり上げ、鍛えあげて貰った立派な先輩、元事務局長小畑博昭さんとの出会いがあって、今日の私があるわけであり、感謝でいっぱいです。

もう一つの出会いは夫婦です。農業で躓き、商売でも失敗、極貧とまではゆかないけれど貧乏でお先真っ暗な時、女房殿には頑張って貰い、その思いが強くあります。

この出会いからの強い思いがもう一つの私の応援歌との出会いとなりました。

ついて来いとは言はぬのに
黙ってあとからついて来た
俺が二十で　お前が十九
さげた手鍋のその中にや
明日の飯さえ無かったな　お前

この歌にも繰り返えし歌っている内に、冒頭の雨ニモマケズ　風ニモマケズの様な思い入れがあります。いつの間にかカラオケで最後に歌ううたとして三十年が過ぎました。古臭く、野暮ったい歌だといわれそうですが、或る時古くからの友人に、あんたが歌い出してから何十回、いや何百回聴いたかもわからない、しかし四十代は四十代の時、そして五十代の時、又六十代の時と、その時々の年代に合った味が出てくるよと言われ、そう言えば自分でもそんな気がして七十代の味がある様になりたいと思う様になりました。

夫婦の出会いからも来年はもう五十年、金婚式を迎える歳月を、一寸気取って言えば、喜びも悲しみも幾歳月、

と共に歩んでおります。今は子供や孫達全員で二十名の大家族になりました。単身で来た私がこの出会いから家族皆んな恙無く、名も無い雑草の花であってもしっかりと育ち、けなげに咲くことは大きな喜びです。

この程エスペランサ婦人会五十五周年誌に寄稿させて頂けたのも、同会の皆様との出会いにつながっているからです。日系社会で顕著な活躍をされている中、福祉に対する温かいご協力、ボランティア活動をして下さっています。

多くの人との出会い、そこから生れ、育くまれたことが人生を豊かにし、勇気と希望を与えてくれます。生きていてよかったなと思える日に感謝出来るよう、今を大切に歩んでゆきたいものです。

二〇〇五年二月

生涯学習

山岡樹代子

毎月、第二土曜日午後一時より始まる短歌教室は、現在、生徒十七名で、各自二首ずつ提出、それを無記名でシェロックスしたのを十首互選する。

清谷先生は、全作品（三十首から三十四首）を添削したのを一首ずつ丁寧に説明される。助詞の「てにをは」一字で、納得のゆく佳作に変る歌、自分だけに分って人に

は思いが伝わらない歌など、こと細やかに解明して下さり、とても勉強になる。

午後一時半から四時まで、終始なごやかで、解説にユーモアがあり、肩のこらない教室である。偶々入る先生選にも気をよくする。

たとえ、拙くても、歌を詠み指導をうけることは、脳の老化を活性化する特効薬と信じている。なかなか上手にはなれないが、生涯学習で、ものを習うのに年齢も遅速もない。　私たちには、神から与えられた老後のやすらぎがあり、健康であれば、まだ、先は長い。

人それぞれに境遇の違いはあれど、趣味を持ち、何かを作り、挑むことは、どんな些細なことでも、生きている証しであり、ときに望外なよろこびをもたらす。

せめて精神だけでも、みずみずしく、心豊かに老いてゆきたいものと、念じている。

五十五周年に際しての私の希望

サンパウロ人文科学研究所　宮尾　進

エスペランサ婦人会の歴史と、これまで何をやって来られたかの資料を見せて戴くと、非常に多方面にわたった年中行事や事業をやっておられ、感心致します。

そうした催しごとの中で、「お茶の会」などで上った利益の一部を、私どもの研究所もご寄付いただき、研究所

調査活動の一助に使わせてもらい、大変感謝している次第ですが、ブラジル日系社会に関するいろいろな調査研究、あるいはブラジル日本移民の歴史に関する調査研究を主とした研究目的としている私どもにとって、これまで果たせなかったものが一つあります。

それは何かと申しますと、ほかでもありませんが、ブラジル日本移民の歴史の中での、女性の立場から見た移民の歴史なのです。これまで書かれた移民の歴史に関するものは、いくつもありますが、それらはすべて男性の視座・視点から書かれた歴史であり、女性の立場から綴られたものは、残念ながら一つもありません。

百年を間もなく数えようとする日本移民の歴史の中で、移民女性はいったいどのような生活、どのような日常活動、どのような歴史の道程をたどって来たのか、そのような歴史を記したものがこれまで、何一つ残されておりません。

数年前、私たちの研究所でも「コロニアの女性史」といったものを書こうということになり、亡くなった仲間の中隅哲朗さんが担当して、これまでに出たコロニアの古い新聞や、その他の出版物をいろいろと調べ始めたのですが、これらの刊行物の中には移民の女性に関しては、見ごとなほど書かれたものが一つもないことに感心するとともに、資料になるものが一つもないことを嘆いている段階で、不幸にして中隅さんは亡くなってしまいました。

私もかつて、ほかのことを戦前に出た新聞で調べている折に、移民女性に関する記事があったらと、気にとめながらめくって行ったのですが、やはり何一つ見つかりませんでした。つまり、戦前に出た新聞や刊行物はすべて男の書き手によるまったくの男の世界に限られたことであり、移民生活の多くの部分を担って来た女性は、おそらくは時代がそうであったからでしょうが、完全に等閑視されて来たのだ、ということになります。

そのようなわけで、いまになって見ると、移民の生活の中で女性が担って来た、ブラジルでの生活とはどんなものであったのかが、ほとんどわからなくなってしまっております。

そこで、エスペランサ婦人会の五十五周年を記念するに際し、今後の課題としてやって戴きたいことのお願いなのですが、それは、こうした消されたまゝでいる日本移民の歴史の重要な部分を、皆様の協同の力により、是非とも掘り起こして、書き残して戴きたいことなのです。

これから新しくエスペランサに参加して戴かなければならない三世々代の会員の中には、大学でいろいろな調査研究の方法を学んだ方たちも、たくさんおられるでしょうし、そうした人たちに積極的に参加してもらうことによって、まだ残っている一世の会員を初めとして、戦前に育った二世会員の人たち、また、更に手を広げて各地の古いご婦人を訪ねて話を聞かせて戴き、それをま

とめれば、移民女性の生きて来た歴史が残せるのではないでしょうか。

それは決してむずかしい内容のものである必要はないのです。朝は暗い内に起きて、夜一番最後に寝るに至ったであろう主婦としての、移民女性の日常の生活が、どのようなものであったかを、いろいろな人の体験談を聞き集めて、詳細にまとめれば、それで立派な「移民女性史」が残せることになると思います。

食事のことだけを調べても、毎日の食事にはどんなものをどのように料理して食べていたのか、日本人の生活には欠かせない味噌や醤油、漬け物はどうしていたのか、ハレの日（お正月やカザメント）の時のごちそうはどんなものであったのか、などなど、調べて行けばそれだけでも大変豊富な内容のものになるでしょう。そのほか家族の病気の時、お産の時などはどうしたのか、カザメントやお葬式の時はどうだったのか、また、そうした片時も休みない主婦としての日常の中で、いったい女性としての楽しみ、娯楽といったものには何があったのかなど、調べて書き残して置きたい。女性がたどって来た生活の記録は、いくらでも生れて来るのではないか、と思います。

こうした女性史の記録は、どうしても女性自身の手でなければ、機微をうがった詳細な記録にはならないだろうと思われますので、これは是非とも皆さんの手で書き記して戴きたいものと思います。そして、その記録の調

査には、是非とも三世々代の女性に参加して戴くことです。何故かと言いますと、これを通して三世の人たちは、おばあさんの世代の生きて来た生活のありようを知るとともに、自らのルーツを確かめるきっかけともなり、それがもとで、新しくエスペランサ婦人会の会員にもなり、新しい世代の新しいエスペランサ婦人会が生れて、これからも会を続けて行くことの大きな可能性が生じてくるのではないかとも期待されるからです。

三世の人たちが中心となれば、当然その記録はポルトガル語になるでしょうが、それで良いのです。要は、日本語であれポルトガル語であれ、女性の立場での移民の生きて来た歴史を残すことなのです。移民世代が残り少なくなったいまを除くと、「コロニア女性史」は永久に消されたままになってしまうのです。

五十五年を記念し、それを契機として四年後にせまった日本移民百周年での、エスペランサ独自の記念事業として、四年後にこれが完成すれば、この女性史の記録は、数多く行なわれるだろう記念事業の中でも、永久に残るすばらしい記念事業になるのではないか、と期待されます。

以上、エスペランサ婦人会五十五周年記念誌に依頼されましたことに対する、お祝いの言葉としては、的はずれなことを記してしまったことになりますが、三世々代に移行して行くこの婦人会が、これからも発展して行くための期待を込めて、勝手な私の希望を述べ、その責(せ

き）を果たすことに致しました。お許しください。

「ブラジルの一般情勢と
少年コスメ君の国を想う心」

ソール・ナセンテ人材銀行代表　赤嶺　尚由

毎日のＮＨＫの海外放映で見る、私たちの掛け替えのない母国の日本も、私たちが日々の生活を営んでいるここブラジルのどのＴＶのニュース番組を見ても、暗い事件、事故の類（たぐい）が続いています。ただ私は、同じ暗い側面を持つ事件であっても、日本とブラジルとでは、何か際立って異なるものがあるように感じられて仕方ありません。

経済的にとても豊かで国民が恵まれた日々の生活を送っている日本で起こる犯罪事件の多くが肉親、友人知人らを巻き込んでのいわゆる憎しみとか怨恨などを原因としているのに対し、我々が現に住んでいるこの国の犯罪事件の八十％から九十％は、ポボン（一般国民）の生活があまりにも苦しいがために、つまり貧困でいるが故に、発生しているような気がしてならないのです。

犯罪の目的がそもそも最初から物盗り、つまり、金銭を奪うことにあるわけですから、仮に武器を所持してい

る一味に襲われるようなことがあっても、抵抗せずに、おとなしく持っている物さえ相手の要求する通りに渡せば、まずほとんどの場合、生命だけは助かる筈です。目当てとする金銭を強奪した上に、後から追っかけて行ってまで、命を奪おうということは、まずこの国では無さそうに思います。

ところが、日本のように、怨恨とか憎しみが絡んだ事件になりますと、なにが何でも生命を奪わないと目的が達せられないわけですから、包丁や小型ナイフを振りかざしながら、逃げる相手を是が非でも追いかけ、その命に手をかけようとします。私が関係するブラジル日本商工会議所（田中信会頭）で親しくつき合わせていただいて、尊敬できる方々がこの頃、とても数多く増えてきました。昔は、日本からの駐在員というと、威張り腐って、日系人を含む現地人に向ける視線も、蔑視に近いものがありました。

まあ、今回は、良い話の中に登場していただくわけですから、ご本名を紹介してみたい気持ちが山々ですが、それもどうかと思いますので、例えば、ブラジルの三菱商事のトップに立つＫＡ氏、ジェトロ・サンパウロ事務所長のＳＴ氏、日本から進出している大手紡績会社である丁社のＮＴ社長、在サンパウロ日本総領事館から離任帰国なさったばかりのＮＩ領事、同じくＹＫ領事などは、最初から現地人にも暖かく公平な眼差しを向け、人間として付き合う姿勢というか、雰囲気みたいなものを

崩していません。ですから、こういう方々は、仮に強盗に襲われ、窮地に追い込まれても、何となくそこから無事に脱することができると思いますよ。

私は、本会の水本すみ子名誉会長からこの講演のお話をいただいた時、大変光栄に思い、話すテーマのことを考えながら、まず手許の辞書でポーボ（国民、人民）を引いてみました。さすがにポボンという語彙は出ていないようでしたが、まあ、新聞や雑誌等によく登場してくるその字面から見ている限り、名もなき貧しい一般大衆くらいに解釈してよろしいのではないでしょうか。さっきも私は、何の気なしにポボンという言葉を口に出しましたが、このポボンこそ、これからの国の運命を左右する大きな鍵を握っているような気がします。

ブラジルの人口は、現在、一億七千五百万人くらいだと推測されます。その内の約一億人強が選挙の時に一票を投じることのできるいわゆる有権者です。大統領、上下両院議員などを選出する総選挙の場合ですと、平均して投票率が七十％前後ですから、約七千万人の有権者が投票所にまで出かけて行って、清き一票を投じます。さらに、この実際に投票所に足を運ぶ七千万人の有権者の殆どがさっきいったポボンということになる筈です。

私も身構えることなどせずに、朝の出勤時など、このポボンと言われる人々の中に進んで入って行って、挨拶するように心がけています。その方がここで生活していて楽しいし、心が落ち着くからです。もう一つの目的は、

ブラジルに住んで四十年以上になって、さすがに日常会話には不自由しませんが、俗語とか諺などを教えて貰うためです。

特に私の家の近くのポントにたむろするタクシー」の運転手たちは、世知に長け、身近な情報を沢山持っています。

そうすることで、彼らから日本の「早起きは三文の得」に近い「朝早く起きる者は、澄んだきれいな水を飲む」などを教えて貰いました。もう一つ、朝九時頃までに、タクシーをつかむ者は（多分、労働者で短距離しか乗らない筈だから）、ちっとも銭にならない。また、朝十時過ぎにタクシーをつかむ者は、（多分、ドットール級が多く、空港などへの遠距離客の筈だから）、大いに銭になる。といった彼ら仲間内の冗談話まで知ることができました。

ブラジル人は、根が無性に明るくて文字通りのネアカでしょう。さらに、自分の個人的に嫌なことを赤の他人にわざわざ教えても、意味がないと割り切っているというか、「ペンセ・ポジチーボ」のような独特の感性をもっているような気がしてなりません。私は、やはり、朝早く会社のある建物の下の受付に到着すると、最初にこちらから受付嬢たちに「ボンジーヤ、コモバイ？」と先に挨拶します。まず間違いなく「ＴＵＤＯ　ＢＥＭ」という返事が返ってきます。

彼女たちにも家での夫婦喧嘩や前日に上司から叱られ

たとか、いろいろと嫌なことがあるはずなのに、いつ挨拶を交わしても「ＴＵＤＯ　ＢＥＭ」なのはどうしてなのか。と、ある日、ふとそう思い、特に親しくしているブラジル人にそっと尋ねてみたことがあります。そうしたら、その答えは『自分や家族の病気とか病死以外は何とか後で取り返しがつくから、「ＴＵＤＯ　ＢＥＭ」でいいじゃないか』ということでした。やはり、自分の個人的な事柄を赤の他人にぺらぺら話しても仕方ないじゃないか、という風に考えているのでしょう。そういったこのポボンのペンセ・ポジチーボ（プラス思考）という物の考え方が私は、無性に好きでなりません。

先刻、ブラジル人は、他民族で成り立っている国のせいか、お互い仲良く生きて行くための生活の知恵というか、独特の感性みたいなものを持っていると話しましたが、本日の私のこの拙い講演を聞いて下さる皆様方、例えば、「メイヤ・ノイテ」（真夜中）という一つの言葉から、どんな色を連想しますか。メイヤ・ノイテの時刻と言いますと、用事を済ませて帰宅中であれば、周囲の闇の黒さをまず思い浮かべるかもしれません。

この国には、これも貧しさのせいでしょうが、まだ中学や高校にいたるまで、年端の行かない夜学生が沢山います。

彼らが勉強を終えて家路に就くのは、大低もう十一時ごろで、真夜中に近い時刻になっていて、辺りには、きっと漆黒といってもいい黒い闇が立ち込めている筈です。

彼ら仲間同士が何かふざけ合う時は、色の黒い夜学生に対して、手っ取り早く「くろんぼう」とか「コールター ル」とか言わずに「メイヤ・ノイテ」と呼ぶことがあるそうです。私は、そこに、相手を傷つけまいとするこの国の少年たちの限りない心の優しさというか気遣いというか、さっき言った独特の感性を感じます。

今、この国の有力新聞、雑誌には、インクルゾン・ソシアルという言葉が一つの流行語のように登場してきています。これまで政権がいくつも交替しましたが、いつもエスクルゾン（カヤの外にはじき出されて追いやられること）の仕打ちに遭い、名もなく貧しく生きてきたポボンたちを改めて社会的にも経済的にもインクルゾン（引き入れ取り込むこと）をして、ＰＩＢ（国内総生産）の五六％も占めるという一般国民の消費力の有力な構成員にしようではないか、という意味でしょう。これが又ルーラ現大統領が約二年前の就任式で十四、五回も唱えたムダンサ（変革）という公約の本当の着地点のような気がします。

選挙の時に尊い一票を実際に行使できる権利を有するポボンたちは、普段、政治のことは無関心を装っています。

しかし、選挙が次第に近づいてきて自分たちの日々の生活に大いに関わりのある為政者が選ばれるとなると見るべきものはちゃんと見るようになります。そういう意味でポボンの持つ一票を軽視する政治家たちは天に向って

唾をすることになります。このポボンの持つきびしい審査の眼を無事通過できずに苦汁を呑んだ最も最近の例がサンパウロ市の前女性市長でした。

二〇〇六年十月には次期大統領選挙が行われますが、大きな焦点の一つは、ルーラ現大統領が悲願とする再選、続投を果たすことができるかどうかに尽きる、と思います。

現役の大統領は、いつも強みを発揮しますし、また、昨年の経済成長率もまったく久し振りに五％台を記録して雇用も増え、働く場所も多くなってきていますから、このまま行けば、再選の可能性は、八十％にも達するだろうといった強気の見方も既に出ています。しかし、私は、ルーラ現大統領が例のポボンを公約通りに、インクルゾン・ソシアル（社会的な取り組み）を達成した時こそ、再選に向けて、鬼に金棒みたいなものを手にできると見ています。

サンパウロ市で発行されているある有力伯字紙の人気コラムニストの一人に、クロービス・ロッシ記者がいて、一週間に殆ど五回位、いつも精力的にコラムを書き、時にはかなり辛口で、時には極めて皮肉タップリで、権力の座にある者の振る舞いに批判を重ねてきていますが、彼の最近書いた記事の中に、次のような面白いものがありましたので、ここでちょっと紹介したいと思います。多分、彼の先輩記者の誰かでしょうが、往事のサンパウロ州のある高名な知事にちょうど会う機会があって「閣

下、貴方は、別に知事を続けなくとも、他の仕事で立派にやっていけそうなのに、どうしてそんなに知事の地位（再選）にこだわるのですか」と尋ねたことがあるそうです。

そうすると、その有名知事は「オー、アミーゴよ、君がもし最初の四年間だけでもこの椅子に座ることができたら、ポルタの開閉に始まり、身の回りのことを何から何まで一切合財誰かがやってくれるので、きっとその良さが判る筈だよ」と、答えたとのことでした。絶えず毒舌でもって知られるロッシ記者は、間髪入れずに「この国で、知事などの権力の座に就くということは、ポルタの開け閉めに至るまで、何でも周囲の人たちがやってくれ、自分の手では何もしなくて済むということを意味する」という風に、いかにも意味深長に書いていました。

フェラメンテイロ（一般金属労働者）として、働き始め、確か作業中に左手の小指まで失いながら、労働組合の指導者になり、遂には一国の最高の権力者の座にまで上り詰めた我がルーラ大統領の場合は、どうでしょうか。ロッシ記者のコラムを続けて読んでいますと、「仮にルーラ大統領が今迄の権力者とどこか異なっていることを認めてやってもいい。しかし、今年まだ十一歳にしかならないコスメ・デ・オリベイラ君という、かつての貧しく名もなかった頃のルーラ大統領と限りなく似ている、一人の少年からたまたまプラナルト宮での会見中に、受けた〈講義〉の内容から判断する限り、どうやら

ルーラ大統領も、今迄の普通の権力者と余り変わっていそうにない」と書いていました。

それは、ルーラ現大統領も権力の頂点に立って見ると、周りの人が何もかもやってくれるのが当たり前と考えている、ということをきっと意味するのでしょう。往年のルーラ少年に似た境遇にいるこのコスメ君というまだ十一歳にしかならない若者が大統領に対して行った〈講義〉の内容に就いて、ロッシ記者は、記事の最後の方に「今、この国の状況がどのようになっているか、一度、大統領自身で直接街頭に立って見られることを希望します。現状は、とてもひどいものですよ」ということだったそうです。ルーラ大統領は、つい最近、最新鋭の大統領専用機を五千万ドル余りで購入して、早速スイスのダボスへの初飛行を行い、今年中に十一回もの外遊をする予定ですが、もう少しは腰を落ち着けて、どうか国内問題にもっと目配りや気配りをして下さい、といったことも、コスメ君は、ついでに言いたかったのではないかと、私は勝手に解釈し、そう受け止めています。

四十五年の足跡（その起源と沿革）

若松喜美・水本すみ子　共述

一九四八年三月

中央区有志婦人部の名の下に集う者十余名、会費は最

初は五クルゼイロス、翌月から十クルゼイロス集める事にした。それは戦後の日本への慰問品募集の仕事が一区切りついた頃の事であった。年末渡辺マルガリーダ夫人を通じ、養老院孤児院に一千クルゼイロス寄付。

一九四九年三月

ボニフアシオ神父のお勧めにより有志の方々の再三会合の末「エスペランサ婦人会」の誕生となる。発起人高岡せい子、金城楠枝、蜂谷ふき子、加藤須磨子、佐藤漣、大河内豊子、藤田みつ、内畠安野、成富やそ子、揮旗冨美、長谷川浜子、村上うめ、佐藤初江、西中友代、杉本満江の諸姉は基金として百クルゼイロス宛出資。四ケ月後会長に大野つや氏を推薦し公認団体としての第一歩を踏み出した。慈善団体に、一万七二〇〇クルゼイロスの寄付を行ない、宮腰氏、石井氏の講演会、料理講習会などを行なう。

尚発起人の諸姉は、相談役となり陰から応援というかたちとなる。

一九五〇年　会長　大野つや、総務　揮旗富美

会育ての親揮旗富美夫人逝去、エスペランサ婦人会葬とする。古橋氏その他の水泳選手の歓迎会や赤十字社のバザーに売店を出し、その利益を各種慈善団体に寄付（総額四、四〇〇・〇〇）又一周年記念ピクニック、運動会を催す。

一九五二年　会長　大野つや、総務　蜂谷ふき子

この頃よりピニエイロス方面の会員が急激に増えて来

たので、役員会はビラ・マリアナ区の村上家と、ピニエイロス区ピラチニンガ文化体育協会本部と各月交代に行なうことになる。又会報第一号を発行し今後は年二回発行する事、生花講習会を始める事など決定。大谷法主裏方の歓迎会や、シャダンサンテを行なったり、運動会場に売店を出したりして資金集めに働く。

一九五三年　会長　村上悦子、総務　蜂谷ふき子

すでに会員も三五〇名にふくれ上がり活発な仕事が出来る様になって居た。北伯の難民救済のための寄付、日本の水害見舞いのためのシャダンサンテを行なったり、多くの会員の要望に応えて料理講習の回数を増やしたり、郊外の植民地に出張講習をする様になった。その外箱根療養所の戦傷者へ三万円の見舞金をお送りした。

一九五四年　会長　木村清美、総務　峰谷ふき子

この年は聖市の四百年祭に当たるので荒井画伯の絵をリッファにし、その売上金五万クルゼイロスを四百年祭協力会に寄付(他に日本へ年末寄付六千円送付)、中村紅花女史の生花講習会が五回、「モーダのお話」等があった。裏千家若宗匠や沢田美喜女史の講演なども伺って時代の動きを知ろうと努めた。

一方では郊外の青年会の講習会にも招かれて、料理その他の講習にも協力し、お互いの向上のために尽くした。又料理講習会は本部とピニエイロスと両方で行なう事になった。

一九五五年　会長　瀬戸アリセ、総務　蜂谷ふき子
今年から新年親睦会を行なう事にする。玉川学園大学総長小原先生、労働省婦人少年室長高崎節子女史、本門仏立宗清水日向上人、荻野女史など日本の錚々たる方の講演会も催し、婦人の向上に努めた。今年からバザーを催すことになった。
会報第五号と第六号を発行。年末寄付一万クルゼイロス。
一九五六年　会長　河野讃子、総務　蜂谷ふき子
慶応大学教授医学博士安藤画一氏の講演会並びに神足徳三郎元船長夫妻との座談会があり、サントス方面の山崩れ羅災者に三千クルゼイロスを贈る。創立記念日にはバザーを行ない、又ラッパ青年会及びイビウナ婦人会へ料理出張講習を行なう。
一九五七年　会長　酒井讃子、総務　蜂谷ふき子
新年親睦会をピラチニンガ文化体育協会で催す。大成功。
文化服装学院の今井田勲氏、海老沢先生、高岡画伯、太田典礼先生、藤原道子女史のみなさんから近代女性の生活、近代の絵画、近代の政治など新しいお話を伺う。母の日のフェスタをピラチニンガ文化体育協会と合同で行なう。恒例のバザーは八月にし、会報第八号及び第九号と会員名簿発行。年末寄付、二八、〇〇〇・〇〇他に九州地方水害見舞五千円送付。
一九五八年　会長　久保悦子、総務　若松喜美

この年より役員の互選により総務一名を選出、コロニア実態調査に協力。三井裁縫学校にてメルカード方面の料理講習を行なう事にす。イタケーラ植民地出張料理講習。カンポス・ド・ジョルドン結核療養所後援の募金を行なう。

大谷光紹師、重永潜師、武宮礼一郎氏、長谷川良信氏、出雲路善嗣師を迎えて茶話会。

内山登志子夫人のお話。

湯川秀樹博士夫人スミ子氏を囲んで座談会。三笠宮両殿下歓迎。

創立九周年記念第五回バザー開催、会報第十号発送。

一九五九年　会長　大原律子、総務　若松喜美

カンポス・ド・ジョルドン療養所に対する寄付金贈呈式（二九六、三一二クルゼイロス）、ケルビンカマルゴ氏の講演、江上料理学院長江上トミ女史及び江上栄子女史の講演会。

創立十周年記念事業として趣味の教室＝料理、活花、お茶、手芸、ポ語、日語教室を開設、又東山、鐘紡工場、イター航空技術学校、リオ市、日本船などを見学、訪問し見聞をひろめた。赤十字病院訪問。日本台風十五号災害見舞金獲得のための、シャダンサンテを行ない純益一〇〇、〇〇〇・〇〇を寄付。

一九六〇年　会長　大原律子、総務　若松喜美

北伯の水害見舞二万クルゼイロス。毎日新聞社浅岡光

正氏、本田トヨ女史の講演会。北伯の水害見舞及び各慈善団体に寄付（二六〇、〇〇〇・〇〇）。

一九六一年　会長　大原律子、総務　三宅静

一九六二年　会長　三宅静

新宮良範氏、石堂豊氏、藤原道子参議院議員の講演会。各団体へ寄付（九五、〇〇〇・〇〇）。料理講習会二四回。

一九六三年　会長　三宅静

四月文化協会内の婦人会会館に移転。創立以来筆にも言葉にも尽せない程お世話になった村上家に深い感謝を捧げる。

今年度よりバザーは二日間行なう事になる。各団体へ寄付総額八〇〇、三〇五・〇〇。

一九六四年　会長　三宅静

古谷綱俊氏、佐藤常蔵氏、今村浩子氏、斉藤広志博士の講演。文化センター落成記念カクテルパーティの料理一千人分引き受ける。南米銀行へ出張料理講習も何回か行なう。

ベルバ・ペッソアール六五〇ＣＲ$受領し一同感激。年末寄付一、六〇〇ＣＲ$。料理講習会三八回。

一九六五年　会長　三宅静

平田進連邦議員、宮坂国人氏、石垣綾子女史の講演会あり。婦人会記念日に敬老会を行なう。年末寄付一、八〇〇ＣＲ$。

一九六六年　会長　三宅静

元参議院議員高良トミ女史、鈴木正威氏、坂口順子女

史、西村昭子先生の諸氏の講演会。第一回芸能祭にも参加し、日舞教室はその妙手を披露した。西清子様よりカラグアタツーバの土地の贈与を受ける。料理講習会四十回。寄付総額一四、一五〇ＣＲ$。

一九六七年　会長　三宅静

皇太子御夫妻会館にお立寄り下さる。役員一同謹んでお出迎えする。

平田進代議士、藤井卓治氏の講演会。

料理、ローケツ、陶芸、人形などの講習は前年に劣らずますます盛んになる。芸能祭、合唱祭にも参加。又婦人会記念日には敬老会を行ない映画を上映する。

料理講習会四十三回。寄付総額一〇、一二〇ＣＲ$。

一九六八年　会長　三宅静

関口俊吾先生、木田健一郎氏、北村省三氏の講演会。女子奨学貸費生制度を設け今年度は三名を募集する事に決める。ローケツ、陶芸、人形、料理の講習は相変わらずさかん。

料理講習会四十一回、寄付総額一三、〇〇〇ＣＲ$。

一九六九年　会長　村上美智香

創立二十周年記念祝賀会を盛大に行ない、功労者の表彰並びに敬老会も行なう。

久保裕医師、前田伊都先生、草村公宣氏の講演。学校の冬休みを利用してお母さん方の冬期特別講習会十日間を催し大好評。

女子奨学生三名に貸与。芸能祭、合唱祭参加。寄付一、三〇〇〇ＣＲ$。料理講習会四十二回。

一九七〇年　会長　村上美智香

前年度から会長の任期は二年と決められたので、村上美智香様は会長として留任。

ピエダーデ、グアタパラ移住地、アチバイア方面へ出張料理講習、冬期講習十日間開催。芸能祭、合唱祭、小野寺音楽研究所発表会等に出場。ブラジリア方面までの長期旅行の参加者多数。

女子奨学生三名に貸与。

遠藤義雄博士、草村公宣氏の講演。

寄付総額一四、五〇〇〇ＣＲ$。料理講習会三十八回。

一九七一年　会長　山根悦子

前田伊都子先生、若松孝司氏、久布白女史、半田知雄先生の諸氏から「ブラジル経済」「コロニアの歴史」その他の講演。

冬期講習会開催。文協の地方巡回講習に講師を派遣。合唱祭、芸能祭に参加。年末助け合い運動のための映画試写会を行ない各方面に寄付。今年度は工芸展のイナグラソン、生花協会の十周年記念などの御馳走作りを引き受け、料理部は大活躍。

女子奨学生三名貸与。パラナ州宮本邦弘氏の招待を受け、耕地見学にコルネリオプロコピオに旅行。料理講習会四十回。寄付総額一七、六〇〇〇ＣＲ$。

一九七二年　会長　山根悦子

サンパウロ市議会よりエスペランサ婦人会に「アンシエッタ章」の授与。長年の社会事業とその業績が認められたわけで、会員一人ひとりの努力と協力の賜である。林善人先生の「運命と道徳について」、山本然象先生の「心気健全法」、中山吾一宣教師の「カナダに於ける日系人の生活と思想」のお話を、また木原先生、安立先生、沖増哲諸先生の講演も伺う。杉田房子、大吉せつの両女史を囲んでの座談会を催す。出張料理講習はオザスコ、ビラマリアナ方面の依頼を受ける。日本海上自衛隊歓迎接待引き受け。サンタカタリナ方面に三泊四日の見学旅行を行なう。

冬期講習会十日間開催。各団体へ寄付。

女子奨学生三名に貸与。寄付総額二〇、〇六〇ＣＲ$。

一九七三年　会長　山根悦子

佐藤初江様の叙勲祝いと米寿のお祝い（岡田千代様）と目出度い事が続く。

女子奨学生三名に貸与。バザーの会場は記念講堂と離す事が出来ないので講堂では余興として、日本舞踊、バレー、コーラス等を行なう事とする。冬期講習会受講延人員二五〇名。寄付総額一九、九五〇ＣＲ$。

小畑博昭先生による講演「コロニアの老人問題」。料理講習会四十二回。地方出張講習六回の他、留学生カクテルパーティの料理引受けなど料理部の活躍が目立つ。

手芸部では各団体より徽章作りの注文を受け多忙となる。

一九七四年　会長　山根悦子
ファッションデザイナー石蔵栄子先生のパリー式立体裁断法洋裁講座受講五十八名。赤間みちへ先生叙勲祝賀会。
創立二十五周年記念式典、於文協記念講堂、来賓招待者及び会員等約五百名出席。余興、カクテルパーティ等万端滞りなく終る。
五月四・五日慈善バザー開催。
日本風俗人形講習会、穴田芳枝先生。
老人ホームより老人向き料理のレセイタ所望さる。請負料理三件。料理講習会十回。出張料理講習二回。
年間寄付総額二七、七〇〇・〇〇ＣＲ$。
一九七五年　会長　水本すみ子
講演、前山隆人類学博士「文化人類学漫談」、ビラマリアナ女子青年会より手芸講座の依頼、和紙人形講習会。講演、野村丈吾連邦議員「最近の政状と社会状勢」、荻窪氏「ヨーロッパ四方山話」、平野総領事夫人歓迎会。
各種講習会、編物、フランス人形。
請負料理二件。出張料理講習会三件。料理講習会十二回。年間寄付総額三四、〇〇〇・〇〇ＣＲ$。
一九七六年　会長　水本すみ子
吉田大使夫人歓迎会。
講演、「主婦としての家庭の光明化」三輪嘉男講師、「日本見たまま」赤毛日出子先生。冬期講習会、料理、陶芸、社交ダンス、編物、手芸。

日本交通遺児育英会の方々と夕食会。
河本通産大臣歓迎会に会長他出席。
国内旅行、フォースデイグアッスー、サンローレンソ温泉等二回。
会館購入のため月掛寄付を始める。
パーティ料理請負二件。出張料理三件。料理講習会十二回。

一九七七年　会長　水本すみ子

講演、斉藤広志先生「移民資料館について」、藤井素介氏「ブラジルに於ける日本語とその普及」。
日本ＮＨＫアナウンサー鈴木健二氏を囲んで懇談会。
請負料理三件。
十月、新会館へ移転、イナウグラソン四百名出席、三階より五階へ購入済みの新会館は、今までより明るく広く使いよく一同心から祝福し合う。
二世グループに依る第一回慈善ビンゴの会、於当会館。
親睦旅行、サンペードロ温泉、ウバツーバ海浜、他ピクニック二回。
パーティ料理請負二件。出張料理三件。料理講習会十二回。

一九七八年　会長　水本すみ子

ビラカロン婦人会来会交流する。
移民七十年祭の年で日本各県より来訪者多し。七十年祭典用の花笠八百個依頼さる。五月六・七日慈善バザー、当日移民七十年祭に併せて「婦人会の歩み」として各種写

真や各教室の作品等展示した。
講演、斉藤広志先生「日系人とブラジル人の社会」、国際協力事業団主催で新移住者の女性方との懇談会に水本会長、山西、釘宮、山崎出席。相談役高岡せい子様叙勲祝賀会、同じく木杯を拝受された長谷川浜子、大久保はるの、市川ふじみ各相談役のお祝いをする。
平野総領事夫人送別会、七月十五日。
伊藤総領事夫人歓迎会、十月二十五日。
請負料理八件。料理講習会十二回。記章作り七件。
年間寄付総額二一〇、〇〇〇・〇〇〇CR$。
慈善ビンゴの会、十一月八日。

一九七九年　会長　山根悦子

協力事業団派遣東京新聞編集局次長岡本昭市氏と「婦人の地位と活躍」のテーマでヂレトリアの方十三名と懇談会。
講演、「西式健康法」金子徳次郎先生。
創立三十周年記念式典、於文協貴賓室、各部門表彰とアトラクション等、来会者三百二十名程。
　ピクニック三件、サンローレンソ海岸、カンポス桜祭り、カルモ公園。
奨学資金貸与学生二名決まる。七夕飾りの指導受け、七夕当日六本を出品。
日本よりの園田外相、渡辺農林相、江崎通産相、森山運輸各大臣歓迎会にヂレトリア（理事会）一同出席。
五月七・八日慈善バザー。十一月慈善ビンゴの会。福祉

施設バザー出張協力三件。請負料理六件。料理講習会十回。
記章作り四件。
一九八〇年　会長　山根悦子
大口満子大使夫人歓迎会。
講演「茶の湯の作法と歴史」「青少年の考え方」海老沢義道先生。
慈善バザー五月三・四日、七夕飾り五等入賞。親睦旅行、リオケンチ温泉。
慈善ビンゴの会。記章作り三件。請負料理三件。料理講習会八回。
年間寄付総額六九〇、〇〇〇・〇〇〇ＣＲ$。
一九八一年　会長　山根悦子
講演、赤毛日出子先生「日本見たまま」、行方健作先生「病気による正しい薬草の使い方」。ピクニック、シャカラ榎本、シャカラポロレイ。伊藤総領事夫人送別会。薮総領事夫人歓迎会。十月山根会長入院さる。記章作り二件。難病のリカルド少年へお見舞一万ＣＲ$。請負料理六件。料理講習会六回。
年間寄付総額一、二一〇、〇〇〇・〇〇〇ＣＲ$。
一九八二年　会長　山根悦子、代行山西ジュリア第一副会長　講演、加藤善三郎先生「心豊かに人生に生きがいを」、記章作り二件。
四月二十七日山根会長膵臓癌のため逝去。
五月一・二日慈善バザー、バザー開催直前に山根会長の

ご逝去は会員一同にとり大きなショックであったが協力一致して目前に迫ったバザーのため尽力する。
見学、カンタレーラ貯水池、移民史料館、七夕祭り大型三個一等賞となり、賞金と努力賞を戴く。日本テレビ料理教室講師、岡松喜代先生講習「圧力鍋の使い方」。

リオ、アングラドスレイス観光旅行。
浩宮徳仁親王殿下歓迎会（文協講堂）に会員一同出席。
冬期講習会、手芸、編物、裁縫。
福祉バザー協力三件。料理講習会五回。請負料理十一件。
年間寄付総額二、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇CR$。

一九八三年　会長　水本すみ子

伊達大使夫妻歓迎会に水本、山西、山崎、相場出席。
講演、田村ワルテル氏「現在のブラジル情勢」、若松孝司氏「インフレをどう受け止めるか」、人文科学研究所主催「婦人講座」に会より多数出席。
「ブラジルを知ろう会」（代表藤井さん）の方々と交流。
四月三十日、五月一日慈善バザー。
ピクニック、サドキン電球工場見学の後カントリークラブへ、ピニヤール植民地。七夕飾り特等賞を戴く、四年連続入賞。冬期講習会、料理、洋裁、手芸、ピンツーラ、編物。
東京都「のびる学園」園長渋谷昭夫先生講話。記章作り五件。
サンタカタリーナ方面水害被害者へ寄付。

オーロプレート方面見学旅行。
俳句教室開設、星野瞳先生。
日本より交通遺児育英会の女子研修生の民泊お引受け。
一九八四年　会長　水本すみ子
色摩総領事夫人歓迎会。
モルンビー区の総領事新公邸に役員二十名招待さる。
講演、橋本伊之助講師「子孫に残すもの」、別役鐘紡社長「ブラジル経済の動き」、山下いよ子講師「ホームヘルパーの仕事について」。記章作り二件。
ピクニック、イタケーラ子供の園、イペランジヤ老人ホーム、成松ぶどう園、シンバサファリ。国内旅行サンジョアキン方面、二泊三日。
見学、鐘紡紡績会社、松下電器会社。
冬期講習会、手芸、編物、洋裁、料理。
五月六・七日慈善バザー。
身体障害者シンポジウムに水本会長出席。
日語、書道、短歌（清谷益次先生）三教室開設。
創立三十五周年式典、於文協貴賓室、各部門功労者及び高齢者表彰、三百五十名出席。キロンボ温泉一泊旅行。
文協主催日本海上自衛隊歓迎会に当会コーラス部員参加。
請負料理三件。料理講習会十七回。出張講習三回。
年間寄付総額一〇、四〇〇、〇〇〇・〇〇ＣＲ$。
一九八五年　会長　水本すみ子
講演、穂積安先生「幸せのカルテ」、田村ワルテル氏「ブ

ラジルの政治と経済」、当眞、富重両医師「成人病について」
「ガンの予防」、橘富士雄商銀社長「旅行経済よもやま話」、大城成美モラロジイ講師「眞の幸福とは」。
慈善ビンゴの会。記章作り五件。
請負料理五件。、料理講習会十九回。
年間寄付総額三四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇ＣＲ$。
一九八六年　会長　水本すみ子
小野総領事歓迎会。
市長夫人の夕食会に二世理事数名出席。
講演、国際協力事業団派遣教員橋本貞夫先生「家庭に於ける祖母、母の役割」、堀口清講師「人性に於ける幸と不幸の別れ道」
座談会、山本勝造氏を中心に「新政策後の社会と政治について」日本よりの国際婦人教育協会の方々と交流座談会、於当会サロン。
常陸宮殿下並びに妃殿下歓迎会に水本会長出席。
リベルダーデ商工会依頼の桜花製作。
夏期特別講習会、洋裁、手芸、ピンツーラ、料理。
小村大使歓迎会、理事三名出席。
ピクニック、益田農場栗拾い、オランブラ花井展、バーラ　ボニータ。
親睦旅行、アラサツーバ温泉、弓場農場、イーリヤソルテイラ発電所見学。
五月三・四日慈善バザー。福祉団体のバザーに協力二件。

慈善ビンゴの会。
請負料理三件。料理講習会十回。記章作り四件。
年間寄付総額一六〇、〇〇〇・〇〇〇ＣＺ＄。
一九八七年　会長　水本すみ子
講演、光田八千代先生「療育音楽について」、野村丈吾連邦議員「新憲法への期待」、国際協力事業団派遣日語専門家永保澄雄先生「芸術とは何か」、日本自然食友の会会長古瀬学先生「健康を左右する食物の選び方」。日本よりの「婦人少年協会」方々と交流座談会、於当会サロン。マイリポラン市水害に一万クルザードス寄付、五月二・三日慈善バザー。慈善ビンゴの会十一月。、福祉施設バザー協力三件。、国内旅行セーラネグラ二泊三日。、ピクニック、アチバイア花祭、ジヤルジン。ペドローゾ、栗拾い。
請負料理六件。料理講習会十六回。記章作り九件。
年間寄付総額五〇〇、〇〇〇・〇〇〇ＣＺ＄。
一九八八年　会長　水本すみ子
講演、人文科学研究所所長宮尾進氏「現在の日系社会」、社会評論家赤嶺尚由氏「最近の政治と経済」。日本の朝日新社より取材に来会、ブラジル月刊誌女性記者来会、日系人の生活習慣と料理などについて取材。
四月三十日、五月一日慈善バザー。
請負料理三件。料理講習会十七回。、
福祉施設バザー協力三件。記章作り二十三件。
ピクニック、金閣寺、カンポスジョルドン、花と苺祭り。

小野総領事夫妻送別会に理事三名出席。
日本よりの秋穂、野口、難波各料理学園長方に依る特別料理講習会受講者多数。
年間寄付総額三、四七五、〇〇〇・〇〇クルザードス。

一九八九年　会長　水本すみ子

創立四十周年記念式典、於文協貴賓室、参加者三二〇名。
講演、伊藤直氏「南米から見た日本人」、日本熊本女子大教授江口正弘氏「源氏絵巻をめぐって」。
ピンツーラと編物教室の合同展示即売会、於当会サロン。
日本東京都より選ばれた各団体の使節四十名の方が海外で社会活動に励む女性との交流を求めて来会、懇談する。奈良の薬師寺執事安田英胤氏来会、高名な同寺管長高田好胤師の御来伯につき相談受く。
五月六・七日慈善バザー開催。
請負料理三件。料理講習会十六回。記章作り十九件。
ピクニック、ベルチオーガ海岸、テルマデジュレーマ、ヤクルト牧場。
五月六・七日慈善バザー。十一月慈善ビンゴの会。
年間寄付総額六五、〇〇〇・〇〇クルザードス・ノーボス。

一九九〇年　会長　水本すみ子

講演、田村ワルテル氏「ブラジルの現状」。
石垣総領事夫人歓迎会。

国策の資金凍結令のためバザーを延期、九月二十二・三日に行なう。十一月慈善ビンゴの会。
請負料理七件、料理講習会十三回、記章作り十七件。ピクニック、ペンニヤ紙箱工場見学、栗拾い益田農場、イタニアエン海岸、アニアンゲーラ桜まつり。
福祉施設バザー協力三件。
年間寄付総額二、三〇〇、〇〇〇・〇〇クルゼイロス。

一九九一年　会長　水本すみ子

講演、援護協会事務局長小畑博昭氏「老人の諸問題について」、下本八郎州議員「ブラジルの現在について」。ピクニック、サントス汽車旅行、水族館、厚生ホーム見学、タウバテ温泉。
カナールトレゼより日本文化紹介のためのテレビ取材に来会、聖市市役所主催「ウンジーヤノジャポン」のため会員多数オニブス借切りでＳＥＳＣ会場に行き、種々の行事に協力参加する。
六月二日慈善バザー開催、今年度より会員方も高齢者が多くなったので一日だけとし、代りに講堂を活用して女性だけの歌謡祭りを併催する。
伯国連邦社会施設のミリアン女史来会。
請負料理五件。料理講習会十四回。記章作り十件。慈善ビンゴの会。
年間寄付総額六、四〇〇、〇〇〇・〇〇クルゼイロス。

一九九二年　会長　水本すみ子

講演、東京医大教授「脳に関する話、赤嶺尚由氏「ブ

ラジルの社会現象を考える」。村角大使歓迎会にヂレトリア四名出席。福祉バザー協力四件。
請負料理四件。料理講習会十四回。記章作り六件。
ピクニック、カントリークラブ、タウバテ温泉。
日本生活共同体の会員三十名、コロニアの生活調査の為来会。国内旅行、ポンペイア西村高等農学校及び各工場見学の後、パラグワスー温泉、丸林元市長の荘園訪問、夜はパラグワスー会館に招待され婦人会の皆さんと交流。
当婦人会主催訪日旅行団結成二十二名参加、東京より熊本まで観光見学十日間の後解散自由行動となる。
五月三日慈善バザー。十一月ビンゴの会。
年間寄付総額四五、〇〇〇・〇〇クルゼイロス。

一九九三年　会長　水本すみ子

講演、中江章浩領事「ブラジルの将来」、老人福祉専門家木村恵美子先生「高齢者の意識調査」。
田中克之サンパウロ総領事歓迎会に水本会長、大久保副会長出席。高齢者慰励基金今年度より設置、その集りを「みどり会」と命名、役員歴十年以上、年令七十才以上をその対象とし会主催の国内旅行、ピクニック、会食等の費用を半額会の負担とする。戦後さまざまの曲折を経て日系人の手に戻ったサンタクルース病院の見学に招待される。
県人会連合会主催ふるさと巡りの旅の会に二十二名参加、レヂストロ、ジユキア方面移民のルーツを訪ねる。
田中総領事夫人歓迎会にマクソードプラザホテルにて茶

話会。宇川大使歓迎会に水本会長、吉間副会長出席。国内旅行パラナ州マリンガ日系クラブ、和順老人ホーム訪問、温泉浴を楽しむ。
五月二日慈善バザー。歌謡祭り併催。十一月ビンゴの会。ピクニック、タウバテ温泉、カルモ公園桜の花見。
請負料理九件。料理講習会十回。記章作り九件。
年間寄付総額五七〇、〇〇〇・〇〇クルゼイロス・

第５０号　会報　１９９５年

【1月】
１１日新年会と定例役員会
　１２時半から新年会　２時から定例役員会　水本会長の挨拶「９４年度も皆様の心からのご協力によって無事なすべき事をなし、社会的にもいろいろ貢献とお手伝いをしてきたと思う」と１年間を振り返って挨拶がありました。
２３日理事会召集　会長交替、理事選出と阪神淡路大震災に会より３千ドルの見舞金を届ける。
【2月】
０１日定例役員会　役員改選
　各講座の月謝改定
０４日料理講習会　竹田アンナ講師、大肉包子、シュウマイ、冷やし中華そうめん

１５日臨時役員会　役員改選について決定　１月２３日、２７日、３０日と３回にわたり検討をかさねたが、書記・会計が難航。
２１日第４６回定期総会　午後１時半開会　第１部は会歌斉唱の後、高岡副会長の司会で進められ、水本会長より挨拶　今中寿磨子新会長が就任。水本前会長は名誉会長になられ、若松相談役と供に新会長より花束贈呈があった。吉瀬、松本、今中、斉藤が日伯両語で事業報告をした。
　第２部は人文科学研究所所長の宮尾進氏の「日系社会の将来と女性の役割」と題して講演がありました。

【３月】

０２日エスペランサ婦人会創立４５周年記念特集号配布
０４日料理講習会　里見世以子講師ところ天もどき、寿し飯の炊き方、おひな様寿し、椿寿し、洋風にぎり
０７日記章作りパウリスタ新聞より
０８日定例役員会
　バザーと料理当番について
１１日第３回文協バザーのお手伝い　ちらし寿し、中華そば
１８日憩の園請負料理
　混ぜご飯、おにぎり、お煮しめ　８０人前
２２日サルガード作り

【４月】

０５日定例役員会　文協バザーの報告とバザーの役割分

担
０８日料理講習会　竹田アンナ講師なすの味噌和え、カマロンエンパナーダ、ヤキソバ、バナナカラメラーダ
１０日　サロン前掛け作り
１１日　記章作り
１８日石鹸作り
１９日サルガード作り
２５日サルガード作り
２６日５月度定例役員会
　リッフアを役員に配布
２８日カウダスノーバスへ３泊４日の旅行に行く。
【５月】
０２日バザー用あん作り
０３日０４日バザー用手芸品、布巾、中古衣料委託品の値段つけ
０５日田中陽子領事夫人、中村首席領事夫人より寄付を戴く。
０７日第４３回バザー開催　会員手作りのうどん、寿し、みつ豆、食堂は満員。おみやげのどらやき、桜餅もたちまち売り切れた。また講堂では、女性だけの歌謡祭も盛大に行なわれた。
０９日記章作り
　石川県人会３４０個の注文
１７日バザーの反省会

２４日慰労会とビンゴを楽しむ。

【６月】

０３日料理講習会　竹田アンナ講師、パエリア、アジのセェツテ、いかのフリッタ　４０名参加

１４日サルガード作り

１８日日本移民祭８７周年記念開拓　先亡者追悼大法要に、わがコーラス部参加

２３日請負料理　若松さんより注文２４日サルガード作り

２８日フェイジョアーダまつり　１人前５レアイス、持ちかえり８レアイス、おいしくて大盛況でした。

３０日サルガード作り

【７月】

０３日料理講習会　小林恭子講師

アジのかば焼き井、茶碗蒸し、白合え、かぶの甘酢漬け。

３０名参加

０５日定例役員会　フェイジョアーダ祭の結果と会計報告

０６日子供の園バザーのあん丸め

０９日子供の園バザーのお手伝い

１２日記章作り

　秋田県人会より３６個の注文

１３日サルガード作り

１８日記章作り

　老人クラブより３０個の注文

３１日臨時役員会

【８月】

０１日サルガード作り

０２日定例役員会　今月の行事予定とカラカタツーバの土地売却の件で説明があった。

０９日臨時役員会

１６日東山農場へピクニック

１９日料理講習会　竹田アンナ講師　ちゃんぽん、えびのにぎり寿し、三角のり巻き、すき焼き

２０日憩の園バザー

２１日さくらの葉の塩漬け

２２日記章作り

【９月】

０２日料理講習会　安達クレウザ講師マッサフォリヤーダの作り方、パステルジンニョ、ドーセトロシーンニョアトンコン、カツピリ、リゾットコンちくわ、かまぼこと野菜のてんぷら、がんもどき

０６日定例役員会　里見世以子様と小林恭子様のご冥福を祈り黙祷する。８月の経過報告

０７日アルジャへピクニック

　花の展覧会バス１台

０９日、１０日短歌大会のお弁当作り

２０日記章作り

【１０月】

０４日定例役員会

慈善お茶会の寄付を会員にお願いする。
０８日希望の家バザーお手伝い
１５日第２９回　合唱祭に参加
２３日　臨時役員会
２６日２７日、３０日記章作り

【１１月】

０１日定例役員会　台所改装の報告
　故里見世以子さんの香典返しとしてお鍋のセット、又今中会長のご主人アントニオ様より５００レアイスの寄付、大久保宝石店からは指輪を戴き披露した。
０６日記章作り
０７日慈善お茶会開催　ブッフェ矢野にてビンゴ大会の合間にファッションショー、社交ダンスのデモンストレーションなど楽しい午後を過ごす。
１５日紀宮清子内親王殿下、文協の移民資料館をご訪問、続いてリベルダーデ広場へお寄りになり、婦人会より多数の方がお迎えした。
１８日料理講習会　竹田アンナ講師　鉄板焼ぎょうざ、冷やし中華　そば、キビ
２０日記章作り
２１日サルガード作り
　ファベーラモンテアズール住　民協会へ２００レアイスを寄付する。
２８日水本名誉会長、総領事公邸にて勲五等瑞宝章を叙勲する。

【１２月】
０１日サルガード作り
０２日料理講習会　鈴木登美子講師　アボーブラレシアーダ、洋風まき寿し、クリスマスサラダ、長いもの梅肉和え
０５日鈴木雪乃さん外務大臣賞受賞
０６日定例役員会　水本名誉会長の叙勲と鈴木雪乃さんの受賞を報告し喜びを分け合った。慈善お茶会の純利益より各福祉団体へ寄付（別紙参照）が渡される。山本キヨさんがクリスマスの飾りを寄付する。
１３日水本名誉会長の叙勲と鈴木雪乃さんの受賞祝賀会が１２時半より会員の手作りのご馳走でお祝いした。
２０日忘年会をレストラン銀座で行ない、ビンゴを楽しんだ。
１９９５年バザー寄付御芳名
【商社の部】南米銀行、カネボウ社東洋紡社、スーペルドン社、ヴァリグ社、大久保宝石店、ジョーリ、パネーラ社、パカエンブー社、スーパー篠原、ソココ社、味の素、小坂商店、ゴイアス、アグロニッポ社、五十幡商店、スーパー飯田、リンダユリ、松本商店、ソルベッテリアクレメウ、プラスフイチカドーラビニェイロス社、カフェドポント社、トキ養鶏場【個人の部】総領事夫人、領事夫人一同、橘真嬉、今中寿磨子、高岡テレジニャ、水本すみ子、大貫イリア、森徳子、小笠原梶子、高岡ルッテ、木下マリア、寺尾正子、佐藤一子、松本淳子、羽瀬ジェニ、

中島トシ、北川彰久、熊谷美寿恵、水野誠子、秋末幸子、ジェニィ実松、橋本正子、平田さち子、鈴木光代、加藤蔦枝、橋本利子、設楽幸子、小寺照華、高塚照子、井田まゆみ、八尋由美子、梶山八重子、斉藤志津、大田さち子、和田ヨランダ、崎山美智子、大島いみ子、志方アキ、佐野芳子、石川敏子、大野美代喜、吉間信子、釘宮香代、飯尾愛子、松原きん子、高崎雪美、安藤花枝、松田吉香、河端マツエ、浜崎けい子、長谷川えい子、薮谷文子、片山つたえ、石川美代子、藤林信子、岡村よし子、堂園しずな、倉持ルイザ、林とみ代、竹内エレナ、山根美智子、壱岐マリア、斉藤愛子、大久保たみ子、相場道子、鈴木美智子、村上波江、田中セシリア、鈴木とみ子、大城正子、長岡清子、羽魔千代子、岩本豊子、植田寿代、市丸美恵、飯田喜美子、田中ナツ子、薄葉慶子、平川百合子、佐藤はな、西山まさ子、畑中イベッテ、竹田アンナ、藤井とし子、樋口まさえ、田口ローザ、水田みよ子、松岡令子、大久保二三子、友谷春子、豊田千代子、堀秋子、三浦悦子、藤井はな、秋山里子、古川安枝、清水幸子、平井ステ、村井ジルセ、田中津多子、里見世以子、村越すみえ、千木アリセ、蜂谷正子、木原チタ、市川記代、山崎素子、小林恭子、溝口千代、高井ちえ、武地志津、若松喜美、吉瀬智子、鈴木雪乃

１９９５年慈善お茶会寄付御芳名

【商社と団体の部】南米銀行、シャーリベイラ、セグーラスーウル、レストランゴールデンシナ、マイアミホテル、

レストランサントリー、天台食堂、すし政、セアスール
セグーロアメリカ、セヅーラテッキ、コガコガ自動車部
品会社、大久保宝石店、盆栽食堂、ユタカ実松事務所、こ
けし食堂、池田ホテル、美松食堂、池崎化粧品店、北川
親睦会、ユキインズストリアコメルシオ、希望の家
【個人の部】斉藤志津、加藤蔦枝、秋末幸子、窪田ナイル、
内山エレナ、梶山八重子、和田ヨランダ、松本淳子、崎
山美智子、薄葉慶子、橋本さち子、佐藤一子、熊谷美寿
恵、倉持ルイザ、高野ミズラ、橘真嬉、小倉フイロメナ、
伝田ルジア、中村ひろ子、千葉マリナ、相場道子、五十
嵐きよ子、斉藤愛子、羽瀬ジェニー、島田ラウラ、今中
寿磨子、平井ステ、古川安枝、吉間信子、秋山里子、森
徳子、松田吉香、鈴木光代、佐藤なおみ、山田清子、大
久保二三子、中島トシ、吉瀬智子、安藤花枝、竹田アン
ナ、小貫ひろ子、市川記代、釘宮香代、高岡ルッテ、水
本すみ子、田中津多子、鈴木雪乃、清水幸子、高崎雪美、
大城正子、松本ソニヤ、山口ジュリア、芳川喜美子、河
端マツエ、佐野芳子、金丸のりえ、吉田八重子、北川彰
久、大野美代喜

１９９５年度　新役員名

名誉会長　水本すみ子
会　長　今中寿磨子
第１副会長　吉瀬　智子

第２副会長　熊谷美寿恵
第３副会長　里見　世以
第４副会長　伝田ルジア
第１書記　斉藤　愛子
第２書記　鈴木登美子
第３書記　小林　恭子
第４書記　島田ラウラ
第１会計　山口ジュリア
第２会計　宮本ミリアン
第３会計　梶山八重子
第４会計　松浦ソニア

社交部
橘　真嬉　吉田アンナ
壱岐マリア　倉持恵美子
古賀　弘子　高野ベッテ
中川　初子

相談役
田中　陽子　田中津多子
若松　喜美　釘宮　香代
高岡ルッテ　大久保二三子
橘　真嬉

監査役
窪田ナイル　相場　道子
斎藤　志津　秋山　里子
平井　ステ　森　徳子

評議員

堀　秋子
小林由美子
中島　とし
石見　愛子

特別会員

山崎　素子
安永　恒子
羽瀬　記代
大坪　綾子

常任理事

梶本つるえ
大橋　みさ
樋口まさえ
河端まつえ
古川　安枝
沖永　栄子
村上　浪江
太田　ちせ
大城　正子
松田　吉香
杉山レジーナ
森田　春子
村井ジルセ
太田メイリー

藤原恵美子
富田　澄江
井上ルシラ
綱島クララ

市川ふじみ
小川　房江
蜂谷　正子
池田　澄香

小笠原梶子
橋本　昌子
綱島クララ
秋末　幸子
石川とし子
福井　ミキ
山岡樹代子
平川百合子
山本ジュリア
亀山ケサエ
熊谷　愛子
佐藤　一子
山路　千里
羽瀬ジェニノ

田中ひろ子　竹内エレナ
岩本　豊子　森　禎子
加藤　蔦枝　羽生智恵子
飯田喜美子　鈴木　光代
市川　紀代　安藤　花枝
鈴木美智子　西山　正子
鈴木　雪乃　山本キヨ子
藤井　とし子　清水　幸子
片山　蔦江　崎山美智子
渡部　ネジア　尾身アニタ
五十幡エリザ　三宮カチア
和田ヨランダ　竹内エレナ
竹田アンナ　古賀　弘子
熊谷美代子　荒木　和枝
植田　寿代

【各部担当者】

料理部
主任
里見世似子　長岡　清子
顧問
釘宮　香代
部員
平井　ステ　小林　恭子
森　徳子　伝田ルジア
崎山美智子　梶山八重子

古賀　弘子　　清水　幸子
荒木　和枝　　大域　正子
河端マツエ　　松田　芳香

通訳

綱島クララ　　鈴木登美子
竹田アンナ

文化部

水木すみ子　　吉間　信子
吉瀬　智子　　松本　淳子
窪田ナイル　　斎藤　愛子

裁縫部

吉間　信子　　小林　恭子
山本　キヨ　　釘宮　香代
若松　喜美　　相場　道子
平川百合子　　藤井とし子
石川　敏子　　大野美代喜
薄葉　慶子

手芸部

中島　トシ　　岩本　豊子
秋末　幸子　　窪田ナイル
木原　チタ　　竹田アンナ
加藤よし子　　内山エレナ
畑中イベッチ　　伝田ルジア
田口ローザ　　大貫イリア
西村きみえ　　鈴木登美子

松本　淳子　　古川　安枝
太田　ちせ

編物
秋山　里子　　清水　幸子
佐野よし子　　山本さより

コーラス
吉間　信子　　秋山　里子
斎藤　愛子　　井本司都子

歌謡
熊谷みすえ　　中川　初子
山口ジューリア　　松浦ソニア

新入会員（１９９５年）
浦島弘子、蓑毛ヒロ、餅川ちよ、石原ルーデス、石塚洋子、石井君江、頼安すみえ、田中やす子、末次みつえ、薮谷文子、松原ハナ、ルーシアリマ、青柳ときえ、今永かつ子、森口美子、島田ラウラ、大原エルザ、大田由美子、中西恵美子、中山かず子、宮沢やよい、山城すみ子、古野二美、大口かね、川村よし子、山口さち子、福元あや子、紺野一二三、スウクアンフアンメイ、桑田幸子、三巻千秋、角田さだ子、まつぐまアリセ、たばふみ、飛松信子、中沢綾子、太田サダ子、鈴木妙子、北島ルーデス、大平ちえ子、宮城オルガ、宋彭思妹、中西玲子、小野照子、安部みつ代、玉城せい子、秋田秋子

１９９５年活動状況

定期総会	１回
定例役員会	１２回
臨時役員会	４回
会員親睦会（慰労会）	２回
慈善バザー	１回
料理講習会	９回
請負料理	３回
福祉バザー手伝い	５回
記章作り	１１回
講演会	１回

第５１号　会報　１９９６年

事業日誌

【１月】

０８日臨時役員会

１０日新年会　定例役員会　今中会長より挨拶　ちらし寿し、お赤飯、おそば、やきとり、サラダ２種、果物、ようかんで新年をお祝いし、２時より定例役員会に入る。新会員名簿作成を決める。

１９日水本御夫妻の叙勲祝賀会がレストランサントリー

で行なわれ、婦人会から多数招待される。
３１日今中会長、役員をエンブーのご自宅へシュラスコに招待して下さる。

【２月】

０３日料理講習会　竹田アンナ講師寿しの基本、えびのちらし寿し、３色寿し、手巻き寿し、変わり冷やしそうめん
０６日記章作り
０７日定例役員会バザーの準備について
１４日サルガード作り
２６日臨時役員会　定期総会の打ち合わせ
２７日サルガード作り
２８日第４７回定期総会が吉瀬副会長の司会で始まる。前年度の事業報告、本年度の事業計画と会計報告があった。

第２部は赤嶺尚由氏による「現在のブラジルを考える」と題して講演があった。

２９日記章作り

【３月】

０２日料理講習会　竹田アンナ講師重ね寿し、いちじく型寿し、イカの酢の物、イカのから揚げ　記章作り
０６日定例役員会　新役員の紹介

バザーの役割分担　北川歌謡親睦会より４０００レアイスの寄付を戴いた。
０９日文協バザーの準備（ちらし寿し）

１０日文協バザーのお手伝い
１３日サルガード作り
　サンタカタリーナへ旅行　１３日夜出発１７日朝帰聖
１５日憩の園より請負料理の準備
１６日憩の園より請負料理
２９日請負料理の準備
３０日請負料理

【４月】

０２日定例役員会　文協バザー報告　サンタカタリーナへの旅行、請負料理、サルガード作りの報告。バザーの各係りを決める。
１０日福神漬け用意
１２日福神漬け完成
１３日サンタクルース病院のバザーにてどら焼きを売る。
２２日バザーの準備
２４日サルガード作り　布巾、エプロン、クッション制作
２６日そぼろ作り
３０日あん作り　クッション制作

【５月】

０３日領事夫人ご一同様より手芸品の寄付を戴く。そぼろ作り
０５日第４４回バザー開催　食堂は大繁盛　お土産のお

寿し、どら焼き、桜餅、みつまめも完売した。講堂では「女性だけの歌謡祭」が行なわれた。
１５日バザーの慰労会をコロニア・ウ・アス・メスチッサで行なう。１３０名参加福引ビンゴをした。
１８日料理講習会　竹田アンナ講師　イカのちらし寿し、チャーハン、カレーライス、アサリの味噌汁
２０日臨時役員会
２２日サルガード作り
３１日バザーの反省会　来年に向けての問題点と各団体への寄付について話し合われた。

【６月】

０１日料理講習会　竹田アンナ講師　えびのエンパナーダ、ワンタン、すき焼き、バナナカラメ　ラーダ
５日定例役員会　バザーの会計報告　各福祉団体に寄付を差し上げる。
１１日記章作り
１２日サルガード作り
１５日料理講習会　竹田アンナ講師　寄せ鍋、のり巻き、春巻き、チーズパン
１９日サルガード作り
２５日昼食会　レストラン銀座　記章作り
２６日第１回アグロニッポ料理講習会　もやし料理、妙飯、やきそば、トルタデフランゴ

【７月】

０３日定例役員会　各部の活動報告と問題点、今月の予

定と会計報告がなされた。
０５日　ピクニック　カーザニコール　９６シュラスカリアで昼食　バス１台
０６日料理講習会　竹田アンナ講師　中華まんじゅう、ちゃんぽん、菜の花ちらし寿し、土瓶蒸し、どら焼きのデモンストレーションを日本学校の生徒にする。
０７日ピクニック　ソコーロ温泉
１２日あん丸め
１４日子供の園バザーのお手伝い
【８月】
０２日あん丸め
０４日やすらぎホームのバザーお手伝い
０７日定例役員会　会のサロン改装

報告
１４日サルガード作り
１７日料理講習会　竹田アンナ講師　えび入りシナそば、かやくご飯、けんちん汁、お好み焼き
１８日憩の園バザーお手伝い
１９日臨時役員会　慈善お茶会の打ち合わせ
２０日さくらの葉塩漬け
２２日料理講習会　長尾清子講師　にぎり寿し、ハモの中まき
２８日どら焼き、サルガード作り　裁縫部、新聞紙使用のかご作りを簿葉慶子先生が指導

【９月】
０２日記章作り
０３日サルガード作り
０４日定例役員会　今月の予定と新役員の紹介
１１日アグロニッポ料理講習会　豆腐料理４種　ミニバザーと慈善お茶会のため袋物を製作、杉山レジーナさんが指導
１７日記章作り
１８日臨時役員会　日系老人クラブ　連合大会のプログラムについて
２１日料理講習会　長岡清子講師　アジのかば焼き丼、イカのまつかさ煮、赤飯
２３日中島トシ先生がフランス人形講習会を行なう
２４日請負料理ちらし寿し
２５日定例役員会　日系老人クラブ　連合会について
２７日記章作り
３０日あん丸め
【１０月】
０１日どら焼き作り
０２日日系老人クラブ連合会に参加　来場者にはどら焼き（２個入り）が手渡された。今中会長の挨拶と水本名誉会長の婦人会のこれまでの歩みと各教室の作品展示。デモンストレーションと記章並びに料理部ののり巻き、サルガード、お菓子等展示された。
０８日記章作り

１０日希望の家バザーあん丸め
１３日記章作り
１６日臨時役員会　慈善お茶会について
１８日料理講習会　竹田アンナ講師　牛丼、五目ラーメン、魚介ちらし、いかの姿寿し
２１日人形講習会　漁師人形　中島トシ先生指導
２５日サルガード作り
３０日アグロニッポ料理講習会かまぼこ、もやし、糸コンニャク

【１１月】
０６日定例役員会　先月の活動報告
１３日慈善お茶会を文協サロンで行なう。
１５日サンローレンソ、カシャンプー、イタモンテへ２泊３日の旅行　バス１台
１８日記章作り
２０日記章作り
２２日サルガード作り
２６日サルガード作り
２７日記章作り
　臨時役員会　寄付について

【１２月】
０４日定例役員会　慈善お茶会の労をねぎらう。会計報告と各福祉団体に寄付を差し上げる。
０７日料理講習会　竹田アンナ講師　洋風重ね寿し、にぎり寿し、豆腐のサラダ、スペシャル冷やし中華

１０日記章作り
１８日忘年会　ブッフェ・フロレスタネグラにて

１９９６年度の活動状況

定期総会　１回
定例役員会　１２回
臨時役員会　７回
慰労会　２回
料理講習会　１２回
請負料理　４回
福祉バザーのお手伝い　６回
記章作り　１２回
講演会　１回
慈善お茶会　１回
ピクニック　３回
旅行　２回
忘年会　１回
サルガード作り　１５回

１９９６年度　バザー奇付御芳名

【商社の部】南米銀行、カフェドポント、シャリベイラ社、グランジャトキ、ニュオーシャン　コメルシオ、カネボウブラジル社、ソココ社、東洋紡、パオレッテ社、ソルベッテリアクレメウ、五十幡商店、ＡＢＵＮＩ、マガリ、アリガ、楮畑商会、グランジャ水本、小坂商店、ハンコ社、グランジャ山根、スーパー飯田

【個人の部】総領事夫人、領事夫人御一同様、水本すみ子、今中寿磨子、和田ヨランダ、木下マリア、高岡ルッテ、薄葉慶子、大野美代喜、斉藤志津、田中津多子、北川彰久、土井千代乃、安藤花枝、末次テレーザ、平井たつお、斉藤愛子、橋本昌子、平田さち子、平川百合子、岩本豊子、鈴木美智子、山崎素子、大久保二三子、梶本つるえ、武智志津、畑中イベッテ、加藤蔦枝、水田美代子、大域正子、石川敏子、高崎雪美、田口ローザ、竹田アンナ、亀山ケサエ、有馬みずえ、相場道子、村上波江、藤原恵美子、井田まゆみ、高塚照子、樋口まさえ、鈴木光代、内山エレーナ、木原チタ、三浦悦子、山口ジューリア、井本司都子、秋田愛子、小寺照華、田中ルーデ、河西房子、藤林信子、富田喜子、八尋由美子、千葉マリーナ、村中セシーリア、壱妓マリア、羽瀬ジェニー、村井ジルセ、山本キヨ、倉持ルイザ、太田メイリー、豊田千代子、藤井とし子、太田ちさと

慈善お茶会寄付御芳名

【商社の部】南米銀行、泰山食堂、コガ＆コガ自動車部品会社、南米安田保険会社、モートジャットインヅストリアコメルシオ、ユタカ実松事務所、ゴールデンシナ食堂、こけし食堂、明石宝石店、漁師食堂、１番食堂、フロールエンフロール生花店、池崎化粧品店、美松食堂、マイアミドスール社、池田ホテル、すきやき食堂、むぎ食堂、盆栽食堂、小坂商店、メジックサウデ、ファゼンダドモーフォ食堂、ミネイ生花店、カザ水本

【個人の部】ジョルジ羽藤市会議員、北川彰久、井上かずお、アウレーリオ野村市会議員、上野ゆうこ、西尾よし子、八尋エルザ、高岡テレーザ、熊谷みすえ、吉田アンナ、佐藤一子、橘真嬉、内山エレーナ、今中寿磨子、倉持ルイザ、鈴木登美子、大野美代喜、中島トシ、相場道子、加藤蔦枝、大久保二三子、相馬文子、平井ステ、梶山八重子、田崎愛子、羽瀬ジェニイー、伝田ルジーヤ、薄葉慶子、高岡ルッテ、秋末幸子、山口

第５２～５３号会報１９９７年

【１月】

０８日新年会と定例役員会

新年の挨拶

【２月】

０５日定例役員会　役員改選と新役員に西川真喜子さん紹介

１５日料理講習会　竹田アンナ講師　韓国風冷やしそうめん、魚と魚卵のちらし、のり巻花畑、卵豆腐のサラダ

１９日第４８回定例総会　９６年の事業報告と会計報告

新役員紹介

第２部　中隅哲郎氏講演「日系社会と女性について」

【３月】

０５日定例役員会　バザー準備開始０９日文協バザーにちらしと冷やし中華を作る。

１５日請負料理　憩の園

１８日記章作り
１９日サウガジンニョ作り
２０日ピクニック　エンブーの今中会長宅
【４月】０２日定例役員会　バザーの打ち合わせ
０５日料理講習会　竹田アンナ講師　　肉団子の甘酢あんかけ、マーボードーフ、きのこちらし、桃カンテン
１９日旅行　リオデジャネイロ　夜行列車で行き、コパカバーナホテルに1泊。ボンデアスーカル・メトロポリターノ教会を見る。帰りは飛行機で。３４名参加
２３日サウガジンニョ作り
３０日定例役員会　バザーのため5月例会繰り上げ
【５月】
０４日第４７回慈善バザー開催　牧総領事夫人開会のテープカットで始り、終日大勢の人で賑わい、手作りの食品初め布巾、エプロン等もよく売れ、大講堂では女性だけの歌謡祭も２５０名の参加者で大盛況だっ　た。
１４日反省会　来年は新しいアイデアの品をと提案があった。
２８日慰労会　エンブーの今中会長宅でシュラスコを頂く。バス２台で８０名参加
【６月】
０３日記章作り　パウリスタ新聞と憩の園
０５日天皇皇后両陛下御来伯
０７日料理講習会　竹田アンナ講師
　のり巻、いなり寿し、えび入りワンタン、春巻き

１０日記章作り
１１日定例役員会　福祉団体へ寄付金を贈呈する。
１８日コーラス部、開拓先亡者追悼法要に参加
　サウガジンニョ作り
２５日サウガジンニョ作り
【７月】
０２日定例役員会　盗難保険に入る事を決める。
０５日料理講習会　竹田アンナ講師　ちゃんこ寄せ鍋、しゃぶしゃぶ、シチュー、韓国風焼き肉
１３日子供の園バザーにお手伝い１４名
１６日フェイジョアーダ祭り
２３日ピクニック　ＭＡＳＰモネ展見学。サンベルナード市の編み物展示会見学（バス代は会が負担）。
【８月】
０１日記章作り
０３日やすらぎホームのバザーのお手伝い。桜餅作り
０４日記章作り　千葉県人会注文
１２日記章作り　将棋連盟注文
１３日８月度定例役員会　中古品ミニバザー開催　文協サンロッケ　国士舘に桜の苗木３本を寄付
１５日料理講習会安立クレウザ講師　野菜のパンケーキ、ご飯の野菜あんかけ、中華風きゅうりのサラダ、ふかしまんじゅう
２０日サウガジンニョ作り
２５日人形講習会（わらべ人形）

中島とし先生

【９月】

０３日定期役員会　慈善ビンゴお茶会の招待券の協力を会員に依頼する。新しい本箱を作る事を決定

１０日福神漬け野菜きざみお手伝い

１２日福神漬け仕上げ

１５日牛乳パックの小物入れ講習会

西川講師１７日サウガジンニョ作り

２３日中古衣類ミニバザー用意

２４日昼食会とミニバザー１２時より　お寿し詰め合わせ、冷やし中華　各５レアイス

２８日記章作り１００個　西川真喜子さん、おわん２０個寄付

【１０月】

０１日定期役員会

０５日第３１回合唱祭に当会コーラス部参加、好評。希望の家バザーのお手伝いの方々１７名

０６日人形講習会（だき人形）

中島とし先生

０８日　ピクニック　グァラピランガ湖畔　世界救世教会堂と庭園見学、無農薬野菜調理の昼食

１０日ビンゴ会お弁当のそぼろ作り

１５日ボリンニョ・デ・バカリヤオ作り。

１７日西川真喜子さんの指導でビンゴお茶会用の紙爪楊枝入れを作る。

１８日料理講習会　長岡清子講師
　ざるそば、たくあんの炒め物、福神漬け、かわりおはぎ
２４日事務室に役員方のボルサ他の収納場として、低めの戸棚を取り付ける。
２７日、２８日記章作り
【１１月】
１２日ビンゴ慈善お茶会　貴賓室において午後１時より
　初めに今中会長の挨拶、吉田アンナ社交部長ビンゴ賞品を寄付して下さった各商社と個人の
御名前を読み上げる。エレクトンが奏でる中、ビンゴも順調に進行、会員手製の心のこもったランシェも好評。余興のカラオケショウにはコロニアの歌手の菊池悦子が独演。総領事館より槙首席領事夫人他３名の領事夫人がご出席下さり、楽しい午後を過さる。午後５時終了　参加者３２０名。
１７日パラナ州マレッテ鉱泉湯旅行。寝台バスで夜が明け、早朝クリチーバ着、折から小雨の中ジャルジンボタニコ（植物園）、テアトロ、オペラ・デ・アラメ（鉄筋建築）のモダンな構築物を見学、昼食後バスでマレッテ温泉へ、ホテルファゼンダ着、夕食後カラオケ等で楽しむ。翌日昼食後宿を出発、リベルダーデ着は１０時となる。
２４日慈善お茶会反省会、会場作りと進行ぶりは上出来、ランシェ（お弁当）は大好評、皆さんのご苦労に感

謝、ショウが少し物足りなかった。
記章作り４０個（ＵＳＰ注文）
２６日サルガード作り
【１２月】
０３日定例役員会　今中会長、慈善　　お茶会の労を会員諸姉に感謝、慈善お茶会の決算報告
純益より各団体に寄付金を贈呈する。
０４日記章作り　マッサジスタ協会　　注文
０６日料理講習会　竹田アンナ講師
重ね寿し、箱寿し、ゼリー、がりの作り方　受講４０名
１０日千代紙爪楊枝入れ講習会
西川真喜子講師
１７日忘年会『なんでもや』１２時半よりお食事を頂いた後、ビンゴゲーム、カラオケ等で楽しく過ごす。賞品は全出席者に配られた。８７名出席
【新入会員】谷口きよ子、宿沢はるみ、中川ひさ子、富田嘉子、山城のり子、浜田すみえ、竹田照子、カルモイボーネ、藤木きよ子、牧野はつえ、安倍さとみ、中西えみ子、佐久間ゆき子、フウテンギシンチ、泉沢とし子、山城さち子、あけおまさこ、きたがしらみつ子、溝口かおる、西川初子、相良こう、上村光代、山田テレザ、落合とも子、マリアニウザ、奥村とし子、大森よし子、村中エミリア、島崎すえ子、タマリヨネ子、寒川クミ、篠原みさ子、かしわぶよしえ、吉田マリアナ、神保エレナ、岡本豊子、鈴

木みずえ

『哀　悼

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

山崎　素子様　　田中津多子様
樋口えみ子様　　大野美代喜様
安永　恒子様　　秋田　愛子様
青木　福野様　　中野あや子様』

１９９７年バザー寄付御芳名

【商社の部】南米銀行、東洋紡ブラジル社、鐘紡ブラジル社、松本パペラリーヤ、カフェロケッデ、アグロニッポ、小坂商店、トキオイソバタ、バレジャンルイースゴーエス、パンコ、大久保宝石店、ミルオージャンコメルシオ、カジバタ店、グランジャトキ、グランジャ水本、カフェドポント、クレマッチソルベッチ、長尾グランジャ、テウマハルツマン

【個人の部】総領事夫人方＝水本すみ子、今中寿磨子、山田京子　編み物グループ＝設楽幸子、水野誠子、薄葉慶子、森徳子、相場道子、山本きよ、鈴木雪野、市川記代、鈴木美智子、豊田千代子、吉間信子、上月花枝、平川百合子、橘真嬉、友谷春子、石見愛子、亀山ケサエ、藤井とし子、若松喜美、宮沢やよい、樋口まさえ、林とみ代、大久保二三子、松本淳子、石川敏子、斉藤愛子、飯田喜美子、秋末幸子、梶山八重子、ヒロメーナ、小倉、島田

ラウラ、崎山美和、平井ステ、高岡ルッチ、西川真喜子、松田吉香、大域正子、村上浪江、釘宮香代、栗山とき子、大久保太美子、武地志津、田中夏子、末次みつえ、高崎雪美、吉田アンナ、エレーナ内山、熊谷みすえ、ベッチ高野、長岡清子、倉持ルイーザ、伝田ルジーヤ、相場文子、羽田えい子、大島いみ子、鈴木光代、加藤蔦枝、斉藤志津、太田チサ子、竹内エレーナ、平田さち子、鈴木信子

１９９７年度　慈善お茶会寄付御芳名

【商社の部】南米銀行、ヤクルトＳ．Ａ、シヤーリベイラコガ＆コガ自動車部品会社、Ｒカルロス大久保宝石店、明石宝石店、尾上カズオ、池崎コスメッチコ商店、実松寛事務所、北川彰久、ジャルジン・ド・イタイン生花店、ピマクレモーダス、ホテル・マイアミ・ド・スール、ニシオヨシコ、スキヤキハウス、野村アウレリオ市会議員、池田ホテル、こけし食堂、レストラン泰山、美松食堂、柿丸食堂、むぎ食堂、レストラン一番、エリキファシオン、テレザフランコイオネ

【個人の部】梶山八重子、竹田アンナ、高崎ゆきみ、佐藤一子、古川安江、宮沢弥生、鈴木光代、太田ちさと、安藤はなえ、内山エレナ、藤井とし子、山口ジュリア、岩本豊子、秋末幸子、梶本つるえ、高野ベッチ、橘眞嬉、清水幸子、末次テレザ、吉田アンナ、大久保ふみ子、竹内エレナ、藤井はな、倉持ルイザ、松浦ソニア、木原チタ、上田寿代、市川記代、加藤蔦枝、飯田喜美子、崎山美和、

釘宮香代、高岡ルテ、相場道子、西野ゆき子、橋本昌子、成松リリアン、水本すみ子、今中ヅルセ
記章、サウガジンニョ作り、お料理などに御協力下さった方々
森、平井、太田、梶山、松本、崎山、秋末、斉藤志、清水、高崎、藤井は、藤井と、鈴木光、釘宮、山本、大城、松田、斉藤愛、平川、吉間、加藤、伝田、古賀、荒木、島田、佐藤一、岩本、佐野、小倉、水野、寺尾、竹田、河端、鈴木登、西川

１９９７年　活動状況

定期総会１回　定期役員会１２回
臨時役員会９回　会員親睦会　２回
慈善バザー１回　料理講習会　７回
請負料理　１回　慈善お茶会　１回
福祉バザー手伝い　５回
慰労会　１回　忘年会　１回
ビクニック２回　旅行　２回
サルガジンニョ作り　１０回
記章作り１４回

エスペランサ婦人会
１９９７年～１９９８年役員名簿
名誉会長　水本すみ子

会　長	今中寿磨子
第１副会長	吉瀬　智子
第２副会長	熊谷美寿恵
第３副会長	吉田アンナ
第４副会長	橘　真嬉
第１書記（日語）	斎藤　愛子
第２書記（ポ語）	橋本ひな子
第３書記（ポ語）	鈴木登美子
第４書記（日語）	西川真喜子
第１会計	山口Ｈジュリア
第２会計	宮本Ｋミリアン
第３会計	梶山八重子
社交部長	高野エリザベッテ
第２社交部長	田中ひろ子
第３社交部長	倉持恵美子
第４社交部長	壱岐マリア
相談役	大久保ニ三子
	高岡　ルッテ
	石見　愛子

吉間　信子
釘宮　香代
若松　喜美
中島　トシ
松本　淳子
木原　チタ
相場　道子
斎藤　志津
長岡　清子
伝田ルジア

監査役

大久保二三子
相場　道子
斎藤　志津
太田メイリー
平井　ステ
橋本ひな子
水本すみ子
高岡ルッテ
石見　愛子
吉間　信子
釘宮　香代
斎藤　志津
相場　道子
森　徳子

評議員

松本　淳子

第５４～５５号会報１９９８年
事業報告

【１月】

１４日新年会　定例役員会　今中会長の新年の挨拶の後、にぎり寿し、茹でブタ、酢の物、カンテン等が出され、お祝いし、その後定例役員会を行なう。会計報告があり、北川歌謡親睦会のリッファが婦人会に当たり、テレビを頂く。

【２月】

０４日定例役員会　文協バザーについて
０７日料理講習会　竹田アンナ講師　シュウマイ、冷やしうどん、カニカマとキャベツのロールまき、きゅうりの酢の物
１１日サウガジンニョ作り
１８日第４９回定期総会開催　事業報告と会計報告
　第２部　二宮正人教授講演
「出稼ぎ現状１０年とその見通し」

【３月】

０４日定例役員会　移民９０周年記　念碑建立のため１レアル募金を行なう。バザーの概要説明があった。
　記章作り　パウリスタ新聞より１０個
０８日文協バザーに参加　ちらしと冷やし中華を販売する。

１２日バザー用小物制作始まる。
１４日請負料理　憩の園
１５日埼玉県人会にサロンを貸す。
１８日サウガジンニョ作り
【４月】
０１日定例役員会　バザーの打ち合わせ
１１日お釈迦様花祭りにコーラス部参加
１４日サウガジンニョ作り
１８日請負料理　武地さんの結婚式料理　のり巻各種、赤飯、煮しめ、酢の物そして式場で飾り付けもする。
２２日サウガジンニョ作り
【５月】
０３日第４８回慈善バザー開催　牧総領事夫人方をお迎えしてのテープカットに始り、今年は売り場もゆったり食堂　お寿し、どら焼き、桜餅、みつ豆も売り切れ。講堂では女性だけの歌謡祭もにぎやかに行なわれた。
１１日記章作り
　徳島県人会から２６０個の注文
１３日反省会
１８日　記章作り　岐阜県人会より
１９日記章作り　山岡樹代子さんより
２０日バザーの慰労会　のり巻、紬巻き、赤飯、煮しめ、コロッケ、ケーキ、つけものをお弁当箱に入れ、ワンタンスープ、ムース、果物で労をねぎらう。

【６月】
０２日記章作り
０３日定例役員会　バザーの利益から福祉団体に寄付を贈呈する。
０９日記章作り
１６日記章作り
１７日タウバテ温泉ピクニック
１８日開拓先亡者慰霊祭にコーラス部参加
２１日移民９０年式典（アニェンビー）とサントスでの日本移民上陸　記念碑除幕式に参加
２３日サウガジンニヨ作り
【７月】
０１日定例役員会　事業報告の後、モラロジー学園の高井多賀司先生の講演があった。１月～６月生まれの方の誕生を祝いケーキを頂く。
０８日記章作り　宮城県人会より６２個
１５日サウガジンニヨ作り
１９日子供の園バザーお手伝い
２２日寿し祭り　のり巻、いなり寿し、ワンタン
【８月】
０２日やすらぎホームのバザーお手伝い
０３日記章作り　愛知県人会より
　定例役員会　瀬戸幸子さん新役員となる。
１９日サウガジンニヨ作り
２６日ポーラ化粧品説明会　島田ラウラ

２７日歌謡教室１０周年記念大会
３０日カンポス・ド・ジョルドンへピクニック

【９月】

０２日定例役員会　慈善お茶会の打ち合わせ
１６日さくらの葉の塩漬け
２１日記章作り　鹿児島県人会
２２日記章作り
２７日希望の家バザーお手伝い
３０日お茶会用小物入れ制作始る
　杉山レジーナさんの指導

【１０月】

０７日定例役員会
　お茶会のランチの係りを決定
１２日コーラス部
　第３２回コーラス祭りに参加
１４日寿し祭り

【１１月】

０４日慈善お茶会開催　早朝よりランチの用意、貴賓室いっぱいのお客様をお迎えし、会長の挨拶の後ビンゴが始められる。休憩時間には歌謡ショーがあり、会員手作りのランチを頂いた。
１１日定例役員会　お茶会の報告
１３日ピラチニンガ温泉に旅行　１泊２日
１８日サウガジンニョ作り
２０日サウガジンニョ作り

２３日記章作り
２４日サウガジンニョ作り
２８日料理講習会　おぎくぼ先生
　お正月料理、えびの車寿し、雑煮、ごぼうと煮干の煮しめ、きゅうりととびこのおつまみ
２９日サンタクルース病院バザーに参加　桜餅を作る

【１２月】
０１日記章作り　歌謡教室から注文
０２日定例役員会　会長１年の協力に感謝をされる。７７歳から９０歳の方、また７月から８月生まれの方をケーキでお祝いする。
１６日忘年会　レストラン　ボーデバレで１２時半より、ビンゴ・カラオケで楽しむ。
　参加者１００名

哀　悼
謹んで哀悼の意を表し御冥福をお祈り致します。
斉藤　錦子様　三宅　しず様
水田みよ子様　北島ルールデス様
佐藤　はな様　植田　寿代様

【新入会員】上田はなえ、荒屋和子、森みえ、田島アヤ、久米しずえ、小川たか子、宮崎一枝、松井みね子、徳武タミエ、菊池信子、鈴木さわ、浅野みね子、渡辺千代子、田中美智代、渡辺貞子、滝田つよ子、西田と

も子、前田さだ子、吉武かのえ、宮川さゆり、菅原アリッセ、とりはらリーナ、深井とも子、野田百合子、浦崎あさ子、川村てる子、須永八重子、松嶺静順、城島まさ子、矢島かつみ、だいりきエリーザ、おちくぼまり、田野中ひさ子、長田みつ子、ＣＨＡＮＧ・ＰＥＮＧ・ＴＵＩ・ＣＨＵ、小野まち子、山脇しげ子、玉城みつ子、河村文子、バグエル・ウケイ・まゆみ、田辺ふさ子、いしみつきよ子、山本すぎ子、村上利枝　１０名

１９９８年度バザー寄付著名

【商社の部】南米銀行、パンコ、カフェドポント、東洋紡績、カジバタ商店、オルチ・フルチ・ルイス・ゴイーエス、松本パベラリア、小坂商店、スーパー飯田、大久保宝石店、トキオ・イソバタ、ニューオーシャンコメルシアルペスカーダ、ＡＢＥＵＮＥ、グランジャ水本、グランジャトキ

【個人の部】牧首席領事夫人、今中寿磨子、大久保二三子、水本すみ子、吉田アンナ、北川彰久、中島とし、羽瀬ジェニー、佐藤一子、古川安枝、河西房子、鈴木信子、平川百合子、井本志都子、吉瀬智子、秋末幸子、田中美智子、森みえ子、堂園しずな、高松みよね、松田吉香、金丸のりえ、野村かほる、橋本とし子、若松喜美、石見愛子、設楽幸子、斎藤愛子、内山エレーナ、熊谷みすえ、間部よしの、宮沢やよい、釘宮香代、服部隆子、藤林信子、川俣初枝、今村いの、鈴木光代、竹内エレーナ、松本淳子、山本キヨ、梶山八重子、三の宮寿子、豊田千代子、平井

ステ、竹田アンナ、水野誠子、倉持ルイーザ、橋本昌子、藤井とし子、吉間信子、山口ジューリア、大島いみ子、森徳子、鈴木美智子、樋口まさえ、羽生千恵子、崎山美和、安藤花枝、清水幸子、越山セイ、飯田喜美子、土井千代乃、藤井はな、西川真喜子、加藤蔦枝、相場道子、薄葉慶子、高崎雪美、原口かず子、太田チサ子、石川敏子、相馬文子、田中夏子、石川キヨ、斎藤志津、橘真嬉子、水田マリア、木原チタ、倉橋つや子、鈴木雪野

１９９８年度、慈善お茶会寄付御芳名

【商業の部】南米銀行、コガ＆コガ自動車部品会社、セグーロス・アメリカドスール・ヤスダ、ユタカサネマツ事務所、峰井花店、ヤクルトＳＡ、池崎コスメチッコ商店、赤星コメルシオ、コオニ・インドウストリア・エ・コメルシオ、シヤア・リベイラ、マイアミドスール・メリオラメント会社、グローリア美容院、プリマクリ商店、清美ずし、カッパ・ガーデン食堂、新だるま食堂、美松食堂、むぎ食堂、柿丸食堂、一番食堂、すき焼食堂、ラッソデオーロ・シュラスカリーヤ、北川彰久先生

【個人の部】中島トシ、熊谷美寿恵、中川初子、釘宮香代、橋本敏子、倉持ルイーザ、清水幸子、松田吉香、河端まつえ、高崎雪美、佐藤一子、斉藤愛子、竹田アンナとエキッペ、西川真喜子、橋本昌子、八尋エウザ、橘真嬉子、長岡清子、斉藤志津、飯田喜美子、林とみ代、梶山八重子、古賀弘子、安藤花枝、今中寿磨子、大久保二三子、平

井ステ、内山エレーナ、相場道子、与那嶺静子、土井とみ子、吉田アンナ、高橋ひさ子、深井ソフィア、水本すみ子、高橋ひろ子、餅川ちよ、宇野みち子、ヤマカワ・シズコ、有馬瑞江、原口和子、小林とよ子、オオバ・カズコ、黒岩久子、秋末幸子、吉瀬智子、山口ひろ子

会の活動状況１９９８年

新年役員会　１回　定期総会　１回
定期役員会１２回　臨時役員会６回
会員親睦会　２回　慈善バザー１回
料理講習会　２回　請負料理　２回
福祉バザー手伝い　５回
慈善お茶会　１回
サルガジーニョ作り　１３回
旅行　２回　記章作り　９回
忘年会　１回

１９９９年　会報　５６～５７号

【１月】

１３日　新年会　おせち料理を頂く。今年の会費は３０レアイスの据え置きとする。

【２月】

０３日　定例役員会　９９年の役員について今中会長の続行を決定

１０日サウガジンニョ作り
２４日第５０回定期総会開催

９８年度の活動報告並びに会計報告。今中会長より新役員と今年の事業計画と第２会館購入の説明。第２部はモラロジー学園の高井多賀司先生の「新しい年を迎えて」と題しての講演がありました。

【３月】
０３日　定例役員会　バザーの準備について
０９日　古賀不動産より第２会館購入の支払いと書類を受け取る。
１０日　タウバテー温泉に日帰り旅行
１７日　サウガジンニョ作り
１９日　サウガジンニョ作り
２０日　請負料理　憩の園
２５日　記章作り　ニッケイ新聞より　２７個
３１日　サウガジンニョ作り

【４月】
０７日　定例役員会　憩の園より高柳、中田先生が「成人病予防」のお話と体操の指導に来られる。
２５日　第４７回バザー開催　牧総領事夫人をお迎えしてのテープカットで始まり、お寿しなどすべて完売し閉会まで賑わいました。

【５月】
０５日　定例役員会　今中会長バザーの報告と感謝を述

べられた。
１２日　バザーの慰労会　レストラン「ボウデバーレ」にて昼食会とビンゴゲーム、カラオケを楽しむ。

【６月】

０２日　定例役員会　第２会館改装について　福祉団体に寄付を差し上げる。
１６日　サウガジンニョ作り
１８日　開拓先亡者追悼大法要にコーラス部参加
２３日　記章作り　ブラジル日本民謡協会より
３０日　サウガジンニョ作り

【７月】

０２日　記章作り　民謡会の注文
０７日　定例役員会
１１日　子供の園　バザー手伝い　さくらもち
１４日　ピクニック　グァラピランガメシアニカ教会庭園　バス２台　８２名参加。晴天に恵まれ、庭園散歩、体操、ゲーム、ミニ活花教室があり、楽しい１日を過ごしました。
２９日記章作り　ＮＧＫより大２０個

【８月】

０１日　やすらぎホームのバザー手伝い　どら焼き
０３日　定例役員会　婦人会創立５０周年記念式典について
１１日　記章作り　北海道協会１９０個
１６日　記章作り　婦入会用

１８日　５０周年記念式典開催　会場いっぱいの来賓と会員を迎え、大久保二三子さんの司会で開会。コーラス部が会歌を合唱。亡くなられた会員に黙祷を捧げ、今中会長の挨拶の後、水本名誉会長が婦人会の５０年の歴史を述べ、改めて先人の方々のご苦労を偲ぶ。続いて来賓の挨拶が文化協会岩崎会長、憩の園会長、こどもの園井田会長、希望の家木田会長代理有北様よりそれぞれご祝辞を戴いた。続いて新井、中崎両領事夫人らに花束が送られた。また婦人会の前会長の酒井讃子さん、久保悦子さんもお元気なお姿を見せてくださいました。各教室の先生がたのご紹介と、特にコーラス部の小野寺先生には４０年の長きにわたるご指導を戴き感謝大きな拍手が送られた。功労者並びに高齢者には記念品が贈られ、また間部画伯夫人のよしの様から婦人会に対して素晴らしい絵画を戴いた。

第２部は婦人会コーラス部の合唱、日本舞踊などアトラクションが有り、お互いの労をねぎらう感慨深い日となりました。

２５日　記章作り　北海道協会より追加注文

【９月】

０１日　定例役員会　５０周年記念式典について

１５日「すしまつり」としてのり巻き、冷やし中華を販売した。

１６日　教室「ピエロ人形制作」開催

１９名の参加あり、合計５回の講習で全員が完

成。出来あがりの顔はそれぞれですが、孫に送りたい気持ちは同じでした。

２０日　桜餅の葉の塩漬け
２９日　サウガジンニョ作り

【１０月】

０３日　希望の家バザー手伝い
０４日　記章作り
０６日　新館の開所式
１０日　コーラス部合唱祭に参加
１１日　記章作り
１２日　記章作り
１３日　サウガジンニョ作り
２０日　サウガジンニョ作り
２６日　お茶会準備
２７日　慈善お茶会　大勢の会員の皆様のご協力でお弁当が出来あがり、熊谷副会長の司会で開会、今中会長の挨拶に続き小島総領事夫人に花束贈呈、早速ビンゴ大会開始となりました。休憩タイムには社交ダンスが披露された。

【１１月】

０３日　定例役員会　慈善お茶会について会長が感謝を述べ、会計報告があった。
０７日　サルガード作り
１０日　サルガード作り
１７日　手芸教室「ナイロンフラワーのクリスマスツ

リー」西川真喜子講師
２３日慈善お茶会の反省会
２３日　サウガジンニョ作り

【１２月】

０１月　定例役員会
０７日　サウガジンニョ作り
１１日クーニヤへ１泊旅行
１５日　忘年会　レストラン　ボーデバーレにて
２８日　記章作り
２９日　記章作り　商工会より
１１５個の注文

新入会員

斉藤貴美子、斉藤よし子、クンワンギチウランギ、劉塗香黄恵美、さくだおちうたこ、宮口秀代、森口玲子、天野とも、大城はつ子、あらかきゆうこ、おかわらあきこ、権藤とし子、杉田えりか、金井エミリア、ワンダリンア　シェウ、大関けい子、金城カロリーナ、せいち八重子、中口なみ、馬場まさ子、東ひさ子、大石ふみ子、下山ひとみ、小林よう子、山口マリーザ、山内たか子

≪哀　悼

ご冥福をお祈りし、生前の御協力に感謝申し上げます。
鎌倉秀子様、富沢喜美枝様、宇高シマ様、村越すみえ様、木原チタ様、宮田勢子様、吉瀬智子様、飯尾愛子様、橋本昌子様≫

年間を通しての協力者お名前

◎ふきん作りに協力して下さった方

『水曜日のグループ』　竹田アンナ、木村さえ子、玉城せい子、木原チタ、松本淳子、宮沢やよい、島田ラウラ、鈴木エリダ、計良パウリーナ、末次光江

『火曜日グループの皆さん方』◎裁縫部　エプロン・クッション作りに協力して下さった方々　薄葉慶子、水本すみ子、吉間信子、平川百合子、町原記枝子、釘宮香代、若松喜美、菅原アリセ、藤木キヨカ、山本キヨ、橘真嬉子、瀬戸幸子、河端マツエ、藤井とし子、渡辺よりこ、市川敏子、水野誠子、石川敏子、林トミ代、相場道子、白井陽子、佐野芳子

『バザーの手芸品製作に参加の方々』

（毎水曜日）　玉利、津田、梶原、牧野、相場、釘宮、西川

『サルガジンニョ作り　福祉バザー　お料理に参加して下さった方々』

平井、森、荒木、梶山、島田、古賀、秋末、崎山、清水、佐野、藤井と、藤井は、佐久間、鈴木光、羽生、平川、松田、松本、鈴木美、斉藤志、井本、相場、瀬戸、飯田、太田、山田、水野、斉藤愛、長岡、河端、小笠原、大城、高崎、梶本、寺尾、加藤、近江

『記章作りに協力して下さった方々』

秋末、梶山、清水、佐藤一、森、鈴木光、山本、崎山、太

田、佐野、松本、古川、平川、斉藤志、与那嶺、梶本、水本、大城、加藤、荒木、古賀、梶本

１９９９年度　バザー寄付御芳著名Ｇ・Ｍ・

【商社の部】南米銀行、カジバタ商店、小坂商店、大久保宝石店、東洋紡、ニューオーシャンコメルシオデペスカード、グランジャ水本、五十幡パウロ、グランジャ長尾、グランジャトキ、パンコ、ＡＢＵＮＥ

【個人の部】牧主席領事夫人、今中寿磨子、水本すみ子、大久保二三子、北川彰久、熊谷美寿恵、吉田アンナ、橘真嬉子、釘宮香代、内山エレーナ、若松喜美、中島トシ、加藤つたえ、和田ヨランダ、井本司都子、山本キヨ、清水幸子、ツングジャギトウシズエ、深井ソフィーナ、鈴木信子、森徳子、平井ステ、宮崎さえ子、斉藤志津、岩本豊子、古川安枝、荒木かずえ、橋本昌子、相場道子、水野誠子、藤井とし子、竹田アンナ、飯田貴美子、梶山八重子、三ノ宮寿子、秋末幸子、安藤花枝、鈴木美智子、吉田八重子、松本淳子、小林豊子、服部隆子、佐藤一子、小川たか子、宇野美智子、草野澄江、松元初子、杉あき子、長田みつ子、大庭千代子、土井登美子、田崎愛子、高橋久子、村越すみえ、高柳静枝、渡部みしえ、岡田よし子、宮内道子、高井知恵、東美代子、上田みゆき、羽瀬ジェニー、村本アグリーナ、フウセンギ、堂園静枝、林アキ、見目玲子、大家浜子、佐野芳子、餅川ちよ、宮本マリナ、リンワンギ、高橋照子、兜森邦子、くしだせいこ、藤井はな、ウイヤング、坂本文代、岡田静江、光田伯子、宮

田静江、河端マツエ、山本和子、新井知里、志牟田清子、岡崎よし子、植松よしえ、相場文子、大城正子、樋口まさえ、小笠原梶子、中村ひろ子、綱島クララ、高崎雪美、金丸教江、谷本なるえ、平川百合子、崎山美和、溝口千代子、ワンギリーアーショウ、佐藤なおみ、中川初子、倉橋艶子、石川敏子、竹内エレーナ、山岡樹代子、今村いの、前田さだ子、長岡清子、尾崎都貴子、山脇しげこ、田辺艶子、原口かずこ、豊田千代子、松田吉香、渡辺むらこ、吉間信子、エミファンギ、さくだうたこ、山口ジューリア、つむらいなか、土井千代乃、山本さゆり、山田京子、中川香、鈴木光代、杉山ヘジーナ、宮本ミリアン、平田美津子

１９９９年度　慈善お茶会にご協力下さった商社および個人のお名前

南米安田保険会社、南米銀行、コーニ（尾上かずえ）、コガ＆コガ自動車部品会社（古賀エジソン）、明石宝石店（尾西貞夫）、池崎商会、シャーリベイラ（岡本和子）、美容室グローリア、イタイン生花店、レストランフバイヤッテ、レストランボーレヴァル、かっぱガーデン、レストラン美松、レストランむぎ、レストラン柿丸、すき焼きハウス、マイヤミ・ド・スール社、北川彰久、エウニッセフェレイラ、西尾よし子、友谷ネウザ、屋城エウザ、吉田きみ子、倉持紀、杉山久司、今中寿磨子、橘真嬉、水本すみ子、大久保二三子、山口ジュリア、内山エレーナ、木原チタ、山田テレーザ、梶本つるえ、秋末幸

子、竹田アンナ、熊谷美寿恵、宮沢やよい、清水幸子、寺尾正子、松浦ソニア、鈴木美智、杉あき子、酒井ちえ、渡部みしえ、ウイヤング、山本ジュリア、吉田アンナ、宮本マリナ、斉藤愛子、釘宮香代、長岡清子、宮本ミリアン、梶山八重子、佐藤一子、安藤花枝、平川百合子、小川たか子、若松喜美、宮崎さえ子、田崎愛子、山渡しげ子、有馬瑞江、高橋久子、古賀ひろ子、壱岐マリア、斉藤志津、飯田喜美子、伝田ルジア、玉城セイ子、木村さえ子、千葉マリア、吉田八重子、加藤蔦枝、西川真喜子

１９９９年の活動状況

定期総会　１回（２月２４日）
バザー　１回（４月２５日）
慈善お茶会　１回（１１月２７日）
５０周年記念式典　１回（８月１８日）
イナグラソン　１回（１０月０５日）
定例役員会　１２回(毎月第１水曜日)
臨時役員会　７回　会員親睦会(新年会、慰労会、忘年会)
３回
福祉バザー手伝い　３回
・子供の園　やすらぎホーム　希望の家　手芸教室
２講習会
・ピエロ　ナイロンフラワー　ピクニック　１回

・グアラピランガ（7月14日）
旅行2回　タウバテ（3月10日）
クーニャ（12月11日）
おふくろの味祭り1回
サルガジンニョ作り10回
記章作り　10回
請負料理　1回

エスペランサ婦人会　役員名簿
1999年～2000年G・M

名誉会長	水本すみ子
会　長	今中寿磨子
第1副会長	熊谷美寿恵
第2副会長	吉田アンナ
第3副会長	橘　真嬉
第4副会長	橋本ひな子
第1書記（ポ語）	斉藤　愛子
第2書記（ポ語）	鈴木登美子
第3書記（日語）	西川真喜子
第1会計	山口ジュリア
第2会計	宮本Kミリアン
第3会計	松浦Kソーニア
第4会計	梶山八重子

第１社交部長　倉持恵美子
第２社交部長　壱岐Ｙマリア
第３社交部長　木村さえ子
監査役　大久保二三子
相場　道子
斉藤　志津

２０００年度　会報　５８～５９号

【１月】

１２日　新年会　今中会長の新年の挨拶、今年度の種々の行事について説明があった。各教室は２月より授業を開始する。バザーは５月７日とする。望月ジロー氏来会され、記念写真を撮り、後でグラフに大きく載せられた。ご馳走はお雑煮、赤飯、巻き寿し、昆布巻き、春雨の酢の物、焼きとり、黒豆、いかの鹿の子焼き、エンパーダ、クリームコルネット等お正月らしく盛りだくさん。

料理担当　長岡、梶山、河端、太田他　６３名出席

【２月】

０２日　例会　本年度第５１回定期総会が２月２３日に決まる。

０９日　サルガジンニョ作り　ボリンニョデミーリョなど参加者１９名

１６日　パンジャカロジェラース街１１１番の第２会館にて緑会の皆さんの昼食会　理事の方々を招待　計３５名出席

２３日　第５１回定期総会　午後１時３０分より　司会熊谷副会長、今中会長の挨拶に続き、前年度の事業報告を西川書記と会計報告ポ語山口、日本語梶山両会計が報告。今中会長より今年度の行事計画の説明がありました。第２部は宮城先生の長寿日本一沖縄の食事と油の摂取方法、ブラジル食の問題点等のお話の後、質疑応答があり時間をオーバーしましたが、関心度の深さと先生の熱意が感じられる講演会でした。

【３月】

０１日　例会　５月バザーのリッファの賞品を決める。
０３日　バザー用手芸品作り
１０日　バザー用手芸品作り　１２名参加
１１日　料理講習会　長岡清子講師
　鶏のもち米蒸し、ナスのしぎ焼き、ちりめんじゃこの飴煮、五目ビーフン　１６名参加
１４日　記章作り　大３０個
　ニッケイ新聞社より注文
１５日　バザー用手芸品作り　６名参加
１７日　１８日の準備　バザー手芸品作り　１６名参加
１８日　憩の園昼食請負料理　７０人分　おにぎり、焼きとり、煮しめ、その他、
２０日　総領事夫人をはじめ、領事夫人御一同様よりバザーへの寄付の品々をいろいろお届け下さる。千代紙作りのブローチ、キーホルダー、小物入れ、スカーフ等
２２日　日帰りピクニック　カンポス・ド・ジョルドン

方面のファゼンダギーラへ　しいたけ、マッシュルームなどの大型栽培を見学。美味しい焼きしいたけや新鮮な野菜その他の昼食を戴きました。

バザー手芸品作り　３名参加

２４日　バザー手芸品作り　１０名参加

２５日　総領事夫人より昼食にご招待される。今中、水本、大久保、吉田、なお小島総領事夫人の歓迎会を２９日にマックスードホテルに予定していたが、ロンドン留学中の総領事お嬢さまが交通事故にあわれたため延期となる。

２６日　茶道裏千家利休忌のご案内とお茶の教室の開催の件について談合あり、利休忌には今中、吉田、内山工、水本、大久保出席

２９日　バザー手芸品作り１０名参加

３１日　バザー手芸品作り１０名参加

【４月】

０５日　例会　バザー当日の各部係りを決め、お手伝いの人数を確認する。東洋紡績会社より生地を多数戴く。

０８日　仏教連合会主催の花祭りが午前１０時よりリベルダーデ広場で厳修され、婦人会コーラス部、仏教婦人会が小野寺先生指導の下にコーラス協力参加する。

１２日　サルガジンニョ作り　コッシンニャ、ボリニョ・デ・ケージョ

バザー出品物の準備値段付け

１４日　お台所では朝早くからサルガード作り他　各種

料理（お寿し、うどん）の下拵えや手芸品クッション作りや、毎週水曜日に準備したおふきん各種やサロン前掛けなどの値段つけの皆さん大忙しで、会の大サロンも台所もどこも多勢の方々が働いておられる。

約５・６０名

１５日　料理講習舎　荻窪先生

しいたけご飯、ナスと肉の妙め物、大根と牛肉の千切り妙め、かまぼこと三つ葉の和え物、昆布ときゅうりの松葉和え

１８日　記章作り　２０個

カラオケハレーよりの注文

２７日　記章作り　３０個　サンパウロ新聞よりの注文

バザー前の超多忙の中皆さんよく協力してくださる。

【５月】

０３日　例会　明後日に迫ったバザーの為各部受付、係などを再確認。「女性だけの歌謡祭」の準備も整い、万端漏れなく整備

０７日　バザー　午前９時先頃御赴任されたばかりの小島総領事夫人と今中会長でテープカット、また各領事夫人５名の皆様方もご来会下さる。

２４日　バザーの慰労会　於　第２会館　出席１００名

バザー当日お手伝い下さった方々及び会員達、ご馳走はわれわれ会員が心を込めて用意したもの、お寿し、いなり寿し、サンドイッチ、お煮しめ、シュラスコ、サラダ各種、酢の物、エンカマーダ（ジェラチーナ）、ケーキ

各種、果物他　新しい会館の庭いっぱいサロンにも多勢のお客様を迎えて大賑わい、午後5時頃まで皆さん楽しそうに歓談して解散

２６日２７日・２８日　クンニャ（陶芸の町）へ２泊３日の旅行参加人数が申し込みよりもぐっと減って１６名熟考を要すること。

【６月】

０７日　例会　各福祉団体、援協、憩の園、子供の園、希望の家等の代表者の方々へバザーの利益の中より、それぞれ寄付を差し上げた。援協和田武一会長より代表して答礼の言葉があった。

１８日　日本移民祭仏式法要　於　文協サロン　例年どおり婦人会コーラス部協力参加。今年度は日本より和楽演奏の方々が来られ、伯国側とも協賛され、琴の演奏や３曲合奏などの献曲が行われた。

２５日　故相場道子さんの４９日法要　於　仏心寺　婦人会より多数出席。コーラス部では相場さん供養のため小野寺先生の伴奏で「椰子の実」を合唱。

【７月】

０７日　定例役員会　出席者４１名

６月度の報告　敬老会開催について

０８日　土曜日にもかかわらず子供の園バザー用どら焼き１００皿を作りました。

０９日　子供の園バザーにてさくらもちを作り完売しましたが、とても暑い日で本当にご苦労様でした。

１０日　記章作り　合計２１０個
　　兵庫県人会より
１１日　記章作り
１２日　記章作り
１９日　冬休み中にもかかわらず、記章作り８０個・音協より注文

【８月】

０２日　定例役員会　出席者３５名
　１０月のお茶会についてと７月の会計報告がなされた。
０６日　やすらぎホームバザー１６名がお手伝いに行きました。さくらもち３００皿足りない位の大好評でした。
０８日　記章作り　７０個
　　サンパウロ新聞社より注文
０９日　記章作り　５０個
　　相馬野馬追いから注文
１５日　うどんとちらし寿しの準備
１６日　第２回おふくろの味まつり開催　ちらし寿し１８４　うどん　１６９販売
２２日　記章作り　２８２個
　　群馬県人会より注文
２３日　記章作り　２２日のつづき

【９月】

０６日　定例役員会　出席者４０名

おふくろの味まつり開催について皆様の御協力に対し、今中会長が感謝を述べられた後、会計報告

２０日　日帰りピクニック　ファゼンダ　アピンコラ（サン　ローレンソ　ダ　セーラ）

【１０月】

０４日　ブラジルのおふくろの味

「フェジョアーダとお寿しの祭り」開催　時間前に列ができ、応対に大変なほど、係りの方々のご苦労の甲斐あってエスペランサならではの美味しさで、来年はもっと食堂部の工夫をする必要あり、来年もよろしくお願いします。又お寿し（のり巻き、いなりの詰め合わせ）も持ち帰り用に完売、日伯両方の食文化の一日でした。

２時より定例役員会で慈善お茶会の打ち合わせをした。

０８日　希望の家バザー

さくらもちを作る

１１日　サウガジンニョ作りガード作り

２５日　第２４日お茶会開催　時間前より行列ができ、領事夫人３名御出席のもと、会長の感謝の挨拶に続き、去年を上回る３００余名の参加者があり、会場はいっぱい。３時間にわたり、ビンゴと婦人会特製のお弁当を頂きながら歌謡ショウなどの楽しい時間を過ごしました。

【１１月】

０８日　定例役員会　会長より慈善お茶会での会員の皆様のご協力に対し厚く感謝を述べた。

２２日　お茶会慰労会が１４時より開かれ、６８名の

方々が参加されお互いの労をねぎらった。サンドイッチ、のり巻き、パステス・デ・フォルノ、ケーキ、くずもち、ゼリーなど作った。

【１２月】

０８日　定例役員会、慈善お茶会の会計報告と各慈善団体への寄付を差し上げる。（下記参照）

２０日　１２時より忘年会と８０歳以上の方をご招待して敬老会をしました。ピッフェよりお料理を取り寄せてフルーツの盛り合わせも素晴らしく、おでん、お寿し、お刺身、酢のもの、２種お肉、魚のあんかけなど次々に出されるお料理に皆さん大喜び。そしてデザートには、スイカ、ジャッカ、マンガ、メロンと大きなケーキが出された。参加人数の３分の２が敬老会でしたが、その旺盛な食欲にびっくり。「たまにはこんなことも良いですね」といつもお台所で活躍の皆さんの声も聞かれ、カラオケ教室の方、日本舞踊教室の生徒さんと花柳竜梅先生の踊り。中島トシ先生のせりふ入りの「湖畔の宿」など会場はウーマンパワーですっかり盛り上がり、改めて「食欲と何事にも挑戦するチャレンジ精神」が元気の素だと思われた方も多いはず。今年も本当にご苦労様でした。また来年もがんばりまよう。

バザー寄付者芳名

【商社の部】南米スダメリス銀行、大久保ルイスカルロス宝石商会、東洋紡績社、安達、椿畑商会、五十幡商会、水

本京都商店、カフェーイグアスー社、ルアノーバ食品パンコ社、小坂商店、グランジャ長尾、グランジャトキ、グランジャ水本、ＮＫコンタビル・エ・フィスカル社、ドロガ・ポント薬局、サンパウロ木工社、ポーロ　サルガード、東久美子、ＢＫＣ音響社、ジロープロヅッソン社、プラネッタ建設会社、森田薬局、ワールドビデオ社、フランゴランジャ・メー社、アカルイ旅行社、与那嶺商会、柿丸食堂、ニイコン・メタリアイス商会、ピタリタス自然薬局、井科研二犬猫医療院、タツアペ医療各科歯科医院、フジ電気貝商会、ラッソ・デ・オーロピツア焼肉店、ボンサイ寿し店、セグラチック保険会社、Ｈコールマステルコンスルチング社、高橋カルロス医師、安田保険、坂東商会、ボタニコ食料品店、ジュリア包装用品店、フジ電気商会、ジジ商会、イタイン花店、ビオネイロ校、ボレバウド食堂、サクラ旅行社、田崎自動車会社、リーザロチセリエ社、エドカショナール、ビゼンシン自然食品社、南米セアズール社、ニッポイムネ社、チルミス家具商会、タイシン輸出入商会熊谷武

【個人の部】サンパウロ総領事夫人小島とも子様他各領事夫人、熊谷リンコン歯科医院、ラケールＹ熊谷医師・野村アウレリオ市会議員、下元八郎州議員、田場ジョージ市会議員、羽藤ジョージ市会議員、北川彰久先生、羽田百合江医師、石見愛子、斎藤愛子、杉愛子、吉田アンナ、森徳子、松本淳子、大久保二三子、相馬文子、市田文代、シャング・リン・ウシアン、高井千枝、綱島クラ

ラ、藤木えみ子、大島恵美子、薮谷ふみ子、金江エミリア、坂本冨美代、羽瀬ジェニー、ロング・ヤング・リング・シュング・メイ、大家浜子、藤井はな、安藤花枝、松本初子、内山エレーナ、ウイ・ヤング、大島いみ子、山口ジュリア、今村いの、小笠原梶子、釘宮香代、荒木和枝、佐藤一子、山本和子、亀山ケサエ、若松喜美、依田君子、山本キヨ、西川真喜子、宮本ミリアン、山田きよ子、島田ラウラ、宮本マリナ、長岡清子、樋口まさえ、鈴木美智子、熊谷みすえ、渡辺みしえ、鳥居ネウザ、松本りき子、今中寿磨子、山本さより、橋本昌子、大域正子、寺尾正子、柳田睦子、相場道子、鈴木光代、崎山美和、岡田しずえ、井本司都子、東美代子、有馬瑞江、藤田直喜、佐藤直美、鈴木信子、見目玲子、秋末幸子、瀬戸幸子、清水幸子、松浦ソーニア、設楽幸子、前田貞子、宮崎冴子、梶本つるえ、加藤つたえ、山脇茂子、西本しのぶ、斉藤志津、与那嶺静子、水本すみ子、羽生智恵子、太田ちさ子、藤井とし子、草野澄江、平井ステ、服部隆子、大久保多美子、橘真嬉子、ツー・ヤング・静江、餅川千代、土井冨子、橋本敏子、石川敏子、中島トシ、片山蔦枝、末次テレーザ、梶山八重子、吉田八重子、瑞慶賢やよい、古川安枝、渡部洋子、三宮よし子、河村良子、佐野芳子、高崎幸美、平川百合子、宇野道子、水野聖子、兜森邦子、鈴木美智子、溝口千代子

商品製作に協力して下さった皆さん

〈ふきん〉竹田アンナ、木村さえ子、玉城正子、松本淳子、

宮沢やよい、末次光江
〈クッションとエプロン〉薄葉慶子、水本すみ子、吉間信子、平川百合子、町原キエ子、釘宮香代、若松喜美、菅原アリッセ、山本きよ、橘真嬉子、瀬戸幸子、藤井とし子、石川敏子、水野誠子、相場道子、佐野芳子、斉藤志津
〈手芸品製作〉玉利ヨネ、津田繁子、牧野はつえ、相場道子、鈴木美智子、平川百合子、梶原、崎山美和、大島いみ子、佐野芳子、山本キヨ、森徳子、太田ちさ子、羽生智恵子
慈善お茶会にご協力下さった方々のお名前
〈商社　その他〉スダメリス銀行、コガ＆コガ自動車部品会社、レストランＢＯＵＬＥＶＡＤ、明石宝石店、池崎商会、コニ商会、ＪＡＲＤＩＭ　ＤＯ　ＩＴＡＩＭ、生花店、大久保ルイスカルロス宝石店、ＣＯＮＴＥＭｌｇ、シャーリベイラ、グローリア美容院、実松豊美術事務所、ＣＡＦＥ　ＩＧＵＡＣＵ、柿丸食堂、ポーラ化粧品、レストランＤＩＮＨＯＳ　ＰＡＬＥＣＥ
≪個人のお名前≫河村リナ、西尾よし子、友谷ネウザ、八尋エウザ、吉田きみ子、倉持恵美子、杉山久司、橘真嬉、水本すみ子、大久保二三子、山口ジュリア、内山エレーナ、山田テレーザ、梶本つるえ、秋末幸子、竹田アンナ、熊谷みすえ、宮沢やよい、清水幸子、寺尾正子、松浦ソニア、鈴木美智子、杉あき子、酒井ちえ、渡部みしえ、ウ

イヤング、長岡清子、山本ジュリア、加藤蔦枝、木村さえ子、宮本マリナ、斉藤愛子、釘宮香代、宮本ミリアン、梶山八重子、佐藤一子、安藤花枝、平川百合子、吉田アンナ、小川たか子、宮崎さえ子、田崎愛子、山渡しげ子、有馬瑞江、高橋久子、古賀ひろ子、壱岐マリア、斉藤志津、飯田貴美子、伝田ルジア、千葉マリア、玉城セイ子、吉田八重子、西川真喜子

≪新入会員≫

西尾よし子、三田ます子、中井れい子、林田マリア、たかじはんがい、後藤ローザ、米原さち子、かみやきみよ、山口みつる、いさやす子、島田ミス子、斉藤あき子、山根なおみ、南ジュリア、高山やえか、坂本ひさえ、森とし子

『哀　悼

謹んで哀悼の意を表し御冥福をお祈り致します

相場道子様、秋山里子様、樋口まさえ様』

1年間を通してご協力下さっている方々のお名前

≪お料理及びサルガジンニョ作り≫

平井、森、荒木、島田、古賀、秋末、崎山、清水、佐野、藤井と、羽生、相場、小笠原、鈴木美、平川、鈴木光、斉藤志、井本、瀬戸、飯田、太田、山田、水野、斉藤愛、長岡、河端、大城、高埼、梶本、寺尾、加藤、梶尾

≪記章作り≫秋末、梶山、清水、佐藤、森、鈴木光、山本、

崎山、太田、佐野、松本、古川、平川、斉藤志、梶本、水本、大城、藤井は、藤井と
≪バザー用ふきん作り≫宮沢、木村、玉城、鈴木、計良、松本、末次、山上

２０００年の活動状況

定期総会　１回
バザー　１回
慈善お茶会　１回
定例役員会　１１回
新年会　１回
忘年会　敬老会　１回
慰労会　２回
ピクニック　２回アピンコラ
旅行　１回　クーニャ
おふくろの味まつり　２回
　うどんとお寿し、フェイジョアーダ
請負料理　２回
サルガジンニョ作り　３回
記章作り　８回
バザー用手芸品作り　８回
希望の家バザー手伝い１回

【1月】
１０日　新年会　定例役員会　長岡さん中心にお正月料理　水本さん、河端さんがお寿しを作り、２００１年のスタートにふさわしい素晴らしい出来映えに会員一同感激。お手伝いの方達ご苦労さまでした。４９名
【2月】
０７日　定例役員会　４８名1月の報告と総会について
今中会長任期中のお札と次期会長を紹介
１３日　サウガジンニョ作り　ボリンニョ・デ・ミーリョ１９キロ　コッシニャ３０キロ
２１名手伝い。
１７日　料理講習会　２時　おぎくぼ先生　鶏肉の親子煮、ひき肉とトーフのあんかけ、もやしのごま酢じょうゆあえ、しめじの即席煮
２１日　定期総会　１２時３０分吉田アンナさんの司会で開会　今中会長挨拶に続き、新会長の熊谷美寿恵さんが今年の抱負を語る。前年度の会計報告（山口、梶山）、２００１年度の行事計画説明（西川）のあと新役員紹介があり、１部が終る。２部はフンダソン・M・オカダより西川講師による「感謝の心　お礼の心」と題してお話があり、出席者全員にミニ生け花が配られた。
【3月】
０７日「おふくろの味まつり」開催
お寿し、河端さん他（のり巻き、いなり、細まき）２００セット、細まきにハナ梅、きゅうり、さけと青じそと

ごまの３種を入れてみました。長岡さん他（冷やし中華）１３２個を２時間で完売した。２時から例会バザーの打ち合わせをしました。

１４日　午後からのラーメン工場ピクニック、「パンコ製パン製麺工場見学」８６名参加。９時出発１０時１０分工場着　パンの工場では帽子と上着が用意されていて、８名のグループに別れガイドがつき工場内へ。大きなパンをこねる機械や次々にフォルノから出て、焼けたパンがベルトコンベアーで頭上をぐるぐる回り、袋詰もすべて自動で近代化された大きな工場でした。出来たてのパンやケーキとコーヒーのもてなしとたくさんのおみやげを戴いたりと、会社側の暖かいご配慮と行き届いた社員教育が印象的でした。１８時３０分帰還　スーパーで見かける「パンコ」の製品がとても身近に感じられますとは参加者の声です。

１７日　料理教室　おぎくぼ先生　お寿しいろいろ細まき、手巻き寿し、紅つばき寿し

２０日　記章作り

サンパウロ新聞より　１０個

２４日　憩の園　定期総会にご出席の役員昼食７０名分を作りました。料理部　月当番の方ご苦労様でした。

【４月】

０４日　例会　ピクニックの報告、バザーの件　小島総領事夫人、石川領事夫人が御来館になりバザーの為の寄付を戴く。

１８日　福神漬けを作る。
　　生野菜約３００キロ分
２５日　記章作り
　　広島県人会より注文１００個
３０日　役員会　２時よりバザーの打ち合わせ

【５月】

０５日　バザーの準備　明日のバザーのため、食品部の皆さんはそれぞれ受け持ちの準備におおわらわでした。
０６日　天候に恵まれ、石川領事夫人のテープカットで開会　いつもながら食べ物は完売。食堂のうどん、みつまめは根強い人気でした。どら焼き、さくらもちもファンが多く、お寿しは美味しいと評判で、開場　前から待つ人の列ができました。そして約２００人のお手伝いの方々本当にご苦労さまでした。
１６日　役員　責任者反省会　２時より　次回は食のコーナーを大幅に広げる事を決定した。
２３日　慰労会　２時　バザーの結果報告と会長のお礼の挨拶に続き、各グループ紹介後、料理部特製のたくさんのおやつを戴きながら、ビンゴビデオゲームと趣向が凝らされ、皆の労をねぎらった。

【６月】

０６日　定例役員会　バザーの決算報告　援護協会、希望の家、憩の園、子供の園に寄付を差し上げた。各団体の方が会員にお札を述べられた。（詳細別項）
０９日　記章作り　リベルダーデの相撲大会より注文３

０個
１８日　移民９３年慰霊祭にエスペランサのコーラス部が参加
２２日　ピクニック「ヤクルト工場見学」８３名参加
７時発
　広大な敷地に機能的な施設清潔な内部など素晴らしい工場を見学し、ヤクルト化粧品、Ｔシャツなどおみやげも戴きました。また、帰りには有名なアパレッシーダ寺院も訪れる事が出来ました。今日の楽しいピクニックに感謝しながら６時３０分、サンパウロに到着、少し遠かったけれどとても楽しかった。

【７月】
０４日　定例役員会　前月の行事報告とヤクルト見学の報告４３名参加
０８日　子供の園バザーお手伝い暑い日にもかかわらず１５名の方が３４５皿を販売

【８月】
０１日　定例役員会　前月の経過とお茶会についての説明がありました。
０５日　やすらぎホーム　つつじ祭りのお手伝いに１５名参加。
　さくらもち１１４皿を作る
１５日　お寿しとうどん祭り（フェイジョアーダ祭りが中止になりました）変わらぬ人気でお寿し１９４皿、うどん１２３食が２時間で完売する事が出来ました。

２０日　記章作り
　　鍼灸院より４５個の注文
２２日　ピクニック　カンポス・ド・ジョルドンへ４４名参加　７時４５分リベルダーデ発　あいにくの雨の出発でしたが役員手作りによるサンドイッテとケーキ、飲み物が配られ、途中２回の休憩をとり、１１時１０分にさくらホームに到着。その頃には天気はすっかり回復していました。さくらはそれほど多くはありませんでしたが、私達を十分に歓迎してくれました。さっそくところどころに置かれた木の切り株に腰を掛け、柿丸さん特製のお弁当を戴きました。その後、買い物や珍しいヨーロッパ風の建物などを見学。市内のメイン広場で記念写真をパチリ。３時に出発し、２回の休憩後５時３０分に到着しました。
２７日　福神づけの仕込をしました。

【９月】

０４日福神づけの仕上げ　８０キロ
０５日　定例役員会　前月の経過とピクニックの報告
１０日　さくらの葉の塩漬け
１２日　サウガジンニョ作り
１５日料理講習会　上島悦子講師　　《パーティ料理手巻き寿し》
手巻きの基本と盛り付け、のり巻きのサンドイッチ、ミカンゼリーなど３８名が参加
２１日　ピクニック　オランブラ　４２名参加　朝８時

にリベルダーデを出発　３時間程でオランブラに到着
１５年前に比べて展示会場、レストラン、お手洗いなど設備も整えられ、展示会場の花の飾り方も興味深く、オランダ風俗の若い人が民族舞踊など情緒を満喫して３時過ぎに帰聖
３０日　希望の家バザー　お手伝い【１０月】
０２日　お茶会用おみやげ　和紙のパス入れの製作開始。
０３日　定例役員会　前月の経過とお茶会について
０７日　コーラス部第３５回合唱祭に参加しました。３５回出演記念として銀のプラッカとテクラードを戴いた。
０８日　記章作り
　アルゼンチンより７０個注文
１７日　サウガジンニョ作り
２０日　料理講習会　上島悦子講師　≪毎日食べたいとうふ料理≫　とうふとツナのムース、ディップス、みそマヨネーズ、パテー各種、とうふとサーモンのコロッケ、とうふとフィレのステーキ、とうふとマラクジャのムース　３８名参加
２４日　お茶会　皆さんの御協力のお陰で１１時にはきれいなお弁当が出来上がりました。今回も大勢のお客様の参加を戴き、ビンゴ大会、沖縄太鼓と舞踊も大好評でした。
　お弁当〈のり巻き３個、パステルデフォルノ、く

ずもち、コッシンニャ、ポーロ、のり巻きサンド、ゼラチナデピンガ、ぶどう〉（婦人会のラベルをつけた）４１３個

【１１月】

０７日　定例役員会　お茶会の慰労会も行なう。前月の行事報告と日系各団体に寄付を差し上げる（別紙参照）。

慰労会内容〈トルタ・デ・サルガード、五目おこわ、春雨、サウピコン、エンパーダ、ゴイアバーダケーキ、ゴイアビンニャ、ヒゾーリス・デ・カマロン、コッシンニャ〉

１３日　役員会　２００２年の会費と新講座開設の件

２４日　料理講習会　上島悦子講師３５名

≪クリスマス料理≫

カルパッチオ・デ・サーモン、ロンボヘシアード、ポーロ・デ・ボブリニヤ、ファロッファ・デ・マラクジャ、ステキなテーブルセッティングに、気分はすっかりクリスマス。

２６日　記章作り

北川先生より注文４２個

２８日　ピクニック　前田農場　３３名参加　７時リベルダーデ発９時到着　朝のカフェーを戴き、農場見学。新鮮な野菜いっぱいの昼食後、全員が当たるビンゴゲームをして、３時のおやつ（カンジッカ）を戴き３時３０分出発。５時３０分に無事帰聖しました。天気もあまり暑くなく最高でした。

【１２月】

０５日　定例役員会

１１月の経過報告

１９日　忘年会１２時より　１０３名　参加　会長が１年間の会員のご協力に感謝を述べ、コーラス部が会歌その他６曲を披露し、続いて会食にさしみ、おでんなどブッフェ「あまみ」のご馳走を戴きました。

１年間の活動状況

定期総会	１回
バザー	１回
慈善お茶会	１回
定例役員会	１２回
新年会	１回
忘年会	１回
ピクニック	５回
ハンコ、ヤクルト、カンボスド	
ジョルドン、オランブラ、前田農場	
おふくろの味まつり	２回
請負作り	１回
サウガジニョ作り	３回
記章作り	５回
福祉団体バザー協力	２回
料理講習会	５回

バザー寄付者芳名

【商社の部】

スダメリス銀行、パンコ、カフェーイグアスー会社、ジャルジン・ド・イタイン生花店、Ｓｅａｓｕｌ保険会社、東洋紡績、安田南米保険会社、味の素、グランジャ水本、グランジャ長尾、安達梶畑商店、小坂商店、フジ商会、アグロニッポ、スーパーヒロタ、パトロピ駐車場、Ｉｎｖｅｓｔｕｒ旅行社、ニッポ医院、Ｓｅｇｕｒａｔｅｃ保険会社、Ｈコールマスターコーテング社、北川彰久先生、熊谷パケウ医師、熊谷リンコン医師、熊谷たけし医師、ジュリア包装用品店、水本京都商会、野村アウレーリオ、田場ジァヨルジ、倉持マルシオ、羽田百合絵医師、井料ケンジ犬猫医療院、ＮＫ会計事務所、赤間学園、ＭＥ鶏種場、ミズエ美容院、与那嶺商会、スキヤキ商会、ＥＮＭＡＮ　コンビニエンシア、Ｌｙｓａ　ポチセリエ店、森田薬局（マリオＡ森田）、古賀不動産、プラネアート設計事務所（ジオバニパテモストロ）、ワールドビデオ社（ウラヤ　ママウロ）、レストラン柿丸、ピタリアス薬局、ドロガポント薬局、梶本商会、ＢＫＣ普響社、金沢製菓店、コーセン不動産、松浦写真店、レストランボンサイ、Ｍｉｄａｓ南米輸送会社（ウイリアムシエンギ）、東久美子、佐藤ジョウジ、佐藤直美、羽藤ジョルジ議員、イリッジョゼー、イリツエミリア

【個人の部】

田崎愛子、杉あき子、吉田アンナ、水本すみ子、綱島ク

ララ、相馬フミ子、竹内エレーナ、長岡清子、山口ジュリア、荒木和枝、山本キヨ、内山エレーナ、西川真喜子、寺尾正子、鈴木美智子、渡部みちえ、熊谷美寿恵、宇野みち子、鈴木光代、崎山美和、佐藤なおみ、中山信子、森本ローザ、宮崎さよ子、斉藤志津、山本さゆり、岡田しずえ、水野誠子、堂園しずな、今中寿磨子、草野すみえ、平井ステ、山田テレーザ、餅川チヨ、藤井とし子、林とみよ、岩本豊子、小林とよ子、加藤つたえ、梶山八重子、中山ヤスコ、西尾よし子、平川百合子、大城正子、八尋エウザ、マリアトマジニ、大石フミ子、島田ラウラ、小笠原梶子、河端マツエ、シェンリウ、原口カズ子、太田チサコ、ウイヤングシングシアング、佐藤一子、飯田喜美子、リウジャン、橘真嬉子、宮本ミリアン、東みよ子、谷本なるえ、森徳子、見目玲子、秋末幸子、設楽幸子、松浦ソニア、ツングシェングパオメイ、吉田ヤエコ、古川安枝、佐野芳子、北川よし子、山田キヨ子、かもりお菓子の寄付の方吉田アンナ、八尋エウザ、倉持恵美子、大久保二三子、牧野はつえ、山口ジュリア、西川真喜子、友谷ネウザ、マリアトマジニ、松浦ソニア、山田テレーザ、西尾とし子、中島ななみ

第６１号　会報　２００２年

会長　熊谷美寿恵

【1月】９日　新年会

・熊谷会長年頭挨拶
テレビ局から出演要請
１８日　・花柳龍梅師匠監修による“二千年”という踊りを披露
２１日　サンパウロ鈴木総領事送別会
・吉田アンナ、宮本ミリアンが出席
【４月】
２６日　日本総領事館夫人達来会
・バザーの出品と特別手芸品を５０個寄贈
第１２回歌謡祭り
・２４３名の参加者
【５月】
５日　２００２年慈善バザーは開会
・日本総領事赤阪しげみ夫人と当婦人会熊谷美寿江会長でテープカット
【６月】
２２日　ＧＮＴテレビ局のＯｌｉｖｉｅｒ　Ａｎｑｕｉｅｒ番組参加
・“さくら餅”紹介、生け花教室（河村リナ講師）、整形体操（山田京子講師）
２４日　ピクニック
・ＧＵＩＲＲＡ（ギラ）農場４２名
【９月】
８日　アリアンサ第３６回コーラス祭典参加
・白樺コーラスと共同参加

１８日　ピクニック
・アチバイア・リゾート・ホテル
４４会員参加
【１０月】
２３日　２００２年度慈善茶会
・成功裏に終了
【１１月】
６日　月例会、慰労会、収益金贈呈
・故中島トシ子（人形寄贈者）へ黙祷、１４：００慰労会
１５：００収益金贈呈
忘年会
【１２月】
１１日・９２会員が出席　昼食余興は例年通り（１２／１３仕事納め１／８仕事始め）
（１０４．ｊｐｇ　表あり）
会報　６２号　２００３年
主な活動
【１月】
８日　１２：００新年会
・２００３年の会費は４０レアルを保持
【２月】１９日　定期総会

・２００３／２００４年度の新役員を選出

【３月】

１０日　裁断、裁縫コース

・藤原しづか先生指導の教室が始まった。

２５日　ピクニック

・サン・ペドロ温泉

４６名が参加

領事館寄贈品　赤阪清隆総領事は額を寄贈

【４月】

２２日・吉田、小島両夫人来会、慈【

第５４回慈善バザー

・よい気候に恵まれ赤阪しげみ総領事夫人と熊谷みすえ会長によりテープカット

コーラス部憩の園訪問出演

・懐かしい日本の童謡・唱歌は在園者に喜ばれた。

【５月】

２８日ハンディランデスＴＶ番組参加

【６月】

１６日　・生け花教室の実況が日本人ブラジル移民９５年記念番組に組み入れ

日本ブラジル移民９５周年ミサ

１６日・コーラスを通じ、我々の先祖の名誉ある宗教的セレモニーに参加しました。

【８月】

在サンパウロ日本国総領事送別カクテルパーティー

５日・熊谷美寿江会長と水本すみ子名誉会長が出席
【９月】文協からの依頼で大豆使用レシピの試作１１日・当会から１３人のボランティアと友の会４と招待客４人で１０種類試作
１６日新在サンパウロ日本国石田仁宏総領事表敬会
・参加者：熊谷美寿恵会長、水本すみ子名誉会長、吉田アンナ、大石文子
【１０月】総領事夫人歓迎会
９日・石田恵子夫人、マクスウッド・プラザの茶会にお招き　４４会員出席
２００３年度慈善茶会
２２日・今回も成功裏に終了したが、途中でのサロン・ダンスに大拍手が起こった。
【１１月】
月例会、収益金の贈呈、慰労会
５日・毎回のごとくスケジュールどおり進行した。
臨時役員会　会の名称変更
２６日・新ブラジル民法に順法すべく臨時総会の承認を得るため
【１２月】
臨時総会開催９日・Ｓｏｃｉｅｄａｄｅ…からＡｓｓｏｃｉａｃａｏ　Ｂｅｎｅｆｉｃｅｎｔｅ　Ｆｅｍｉｎｉｎａ“Ｅｓｐｅｒａｎｃａ”になる。
敬老会と忘年会
１０日・敬老出席者４７名に紅白餅が進呈され、祝福さ

れた。

会報　６３号　２００４年度

主な活動

【1月】

7日　新年会

・４８会員出席　熊谷美寿恵　会長挨拶　乾杯、おせち料理で祝う。

【2月】

１８日　定期総会

・３９名出席　新監査役補佐役発表　会費５０レアルに制定

【3月】

２５日　ピクニック

・スザノの魔法の街“Ｍａｇｉｃ　Ｃｉｔｙ”

４２会員が参加

【4月】

１２日　前会長今中須磨子死亡

・１９９５－２０００年代の会長であった。

２２日　総領事夫人から寄贈

・日本製の磁器製品２６点を寄贈

２５日　０８：００第１４回歌謡祭り

・参加者２９１名

２５日　０９：００第５５回慈善バザー

・石田恵子総領事夫人と熊谷会長によりテープカット
４１協力出店

【５月】
２０日　日本館５０周年記念茶会
・茶道裏千家ブラジル・センター創立５０年
参加者：熊谷会長と小林ひさ恵
２７日　日本大使歓迎晩餐会
・堀村隆彦新大使の表敬晩餐会が文協で　出席者：熊谷会長と吉田アンナ

【６月】
２４日　ピクニック
・スザノ在のピラミッド農場　ホテルへ５３名参加

【８月】
４日　１３：００歴代会長の写真展示し除幕した
・役員室に歴代会長の写真を展示
１８日　エスペランサ婦人会第５５周年記念式典
・１．会歌・黙祷２．祝辞（会長、名誉会長、招待客）３．ケーキカット４．コーラス５．パーティ（乾杯小野寺先生）

【９月】
２４日　総領事公邸で昼食会
・ブラジル日本移民百周年祭
典協会の資金調達に企画したもの

【１０月】１７日　日文連主催合唱祭・今年もわがコーラス部は参加した。

２７日　慈善茶会開催
・成功裏に終了、平田ジョー歌手のアトラクションに人気があった。

【１１月】

１０日　ブラジル日本移民百周年祭典協会の創立
・熊谷美寿恵会長と吉田アンナが出席した。

１７日　慈善茶会慰労会　収益金贈呈・会員・ボランタリーの融和を最も重視しているイベントである。

２５日　ピクニック
・スザノのＮａｒｄｅｌｌｉ（ナルデリ）農場
４３名参加

【１２月】

１５日　忘年会
・８３名参加　コーラス部発表、ビンゴ・ゲーム、昼食奄美

（１１３～１６５．ｊｐｇポルトガル語）

（１６６．ｊｐｇ　ポル語裏表紙）

ASSOCIAÇÃO BENEFICENTE FEMININA

"ESPERANÇA"

COMEMORAÇÃO DO 55º ANIVERSÁRIO

BOLETIM INFORMATIVO Nº 67
DEZEMBRO - 2004